

備考	起 源 及 沿 革 ノ 大 要

- 一、本表ニハ予守教育、貧兒教育、小學校ニ代用スヘキモノノ下婢教育其他特殊教育ヲ各事業別ニ記載スルモノトス
- 二、收容者處遇法關ニハ授業料ヲ徴收スルヤ否ヤ其ノ免除ノ人員金額學用品ヲ支給又ハ貸與スルヤ否其ノ支給又ハ貸與スヘキ種類、人員、金額等ヲ記載スヘシ
- 三、浴場、理髮、父兄又ハ母姉懇談會、文庫等ノ設ケアルトキハ備考欄ニ記載スヘシ
- 四、以上ノ外第廿一號表ノ例ニ依ル

名稱	位置	創立 設立 法人許可	職員 稱人 員	代表者 氏名	經營ノ 狀況	資 產		債 負								
						種別 金 高 又 ハ 價 格	種別 金 高 又 ハ 價 格	計	何々							
第三二 救濟事業調査表 (雜)	(何年十二月末日調)					土地	基金	負債	計							
何郡市役所 何町村役場						坪	坪	坪	坪							
						坪	坪	坪	坪							

報告期

町村ハ翌年四月十五日
郡市ハ翌年四月末日

備考	起 源 及 沿 革 ノ 大 要	費					經					債 負		及 建 物 何々	維 特 ノ 方 法	
		計	雜 收 入	補 助 金	臨 時 寄 附 金	餘 金	事 業 收 入	財 產 收 入	入	支	出	計	何々			

- 一、本表ハ第廿一號表乃至第三十一號表ニ記載シ難キモノヲ調査スヘキモノトス
- 二、經營ノ狀況欄ニハ一ケ年間ニ於ケル救助又ハ保護シタル人員(男女)金額等ヲモ記載スヘシ
- 三、以上ノ外第廿一號表ノ例ニ依ル

報告期

町村ハ翌年度四月末日
郡市ハ翌年度五月末日

某水道

- 一、本表ハ水道條例ニ依リ全部又ハ一部水道敷設ノ認可ヲ得タルモノノ年度末現況及一年度間ニ於ケル給水其他ノ狀況ヲ記載報告スルモノトス
- 二、市町村ニ於テ水源其他ノ工事ヲ行ハス官廳ニテ築造シタルモノノ貸與ヲ受ケ給水スル水道及市町村以外ノ企業者ニシテ敷設ノ認許ヲ受ケタル水道モ亦本表ニ依リ調査報告スルモノトス
- 三、表中ノ事實ニシテ前年度ト異動ナキモノハ之ヲ省略シ各欄異動無シト記入スルコト
- 四、量水器ヲ用ヒス水量ヲ認定スルモノハ別記ヲ要ス
- 五、細菌集落數ノ試験場所ヲ異ニスルモノハ別記スルコト
- 六、雜收入中ニハ敷設資金並同資金ヨリ生スル利子等ハ算入スヘカラス
- 七、水道費收支ハ最近ニ於ケル決算額ヲ掲記スルモノトス

第三四 軌道表

開業軌道 其一 (何年未現在)

營業者名	會社又ハ事務所	營業ノ種類	原動力	特許線路	線路距離
某電氣軌道株式會社		主營業		哩分厘	哩分厘
某馬車軌道株式會社				哩分厘	哩分厘
某人車軌道株式會社				哩分厘	哩分厘
何々					

報告期

町村ハ翌年四月十五日
郡市ハ翌年四月末日

何都市役所
何町村役場

營業者名	種別	建設費		設備費		其他費		合計	
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
某電氣軌道株式會社	原動車								
某馬車軌道株式會社	客車								
某人車軌道株式會社	貨車								
何々									

營業者名	某馬車軌道株式會社		所名	所在地	總馬力	總發電量 キロワット	他所ヨリ供給ヲ受ク ル電力	供給者	電力 量 キロハット	馬匹頭數	全線ニ關最高區間ニ スル一人於ル一人一 哩平均哩平均 厘
	何々										
營業者名	某電氣軌道株式會社		運論事務	監督	車掌	運轉手	馭者	轉轍手	信號人	何々	合計
	何々										
營業者名	某馬車軌道株式會社		運論事務	監督	車掌	運轉手	馭者	轉轍手	信號人	何々	合計
	何々										
營業者名	某電氣軌道株式會社		運論事務	監督	車掌	運轉手	馭者	轉轍手	信號人	何々	合計
	何々										

一、特許線路細別ハ左ノ如シ(線路順ハ特許ノ年月日ニ依ルコト又本項ハ最初一回報告スレハ次回ヨリ記載ニ及ハス次ノ營業線路細別モ亦同シ)

營業者名 特許年月日 線路區間 國道 縣道 里道 新設軌道 離

營業者名	某電氣軌道株式會社		哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘
	何々								
營業者名	某電氣軌道株式會社		哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘
	何々								

一、營業線路細別ハ左ノ如シ(線路順ハ開業ノ年月日ニ依ルコト)

營業者名	某電氣軌道株式會社		哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘
	何々								
營業者名	某電氣軌道株式會社		哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘
	何々								

營業軌道 其二 (何年)

營業者名	某電氣軌道株式會社		種別	線路區間	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	許可月日
	何々										
營業者名	某電氣軌道株式會社		種別	線路區間	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	哩分厘	許可月日
	何々										

營業者名	運轉		事故件數	合計	死亡傷人員					
	衝突	脫線			乘客	職員	行人			
某電氣軌道株式會社										
某馬車軌道株式會社			上季 下季 中							
某人車軌道株式會社										
何々										
營業者名	衝突	脫線	妨人爲害	停電(十五分以上)	何々	合計	乘客	職員	行人	合計

未開業軌道 (何年未現在)

企業者名	會社又ハ事務所位置	特許年月日	營業種類	特許線路距離			資本額
				哩分厘	哩分厘	哩分厘	
某電氣軌道株式會社							
某馬車軌道株式會社							
某人車軌道株式會社							
何々							
企業者名	會社又ハ事務所位置	特許年月日	營業種類	特許線路上哩分厘	新設軌道哩分厘	合計哩分厘	資本額

企業者名

企業者名	線路區間	工事竣功歩通	工事竣功豫定期限	工事未著手線路區間
某電氣軌道株式會社	自某所至某所			
某馬車軌道株式會社				
某人車軌道株式會社				
何々				
企業者名	線路區間	工事竣功歩通	工事竣功豫定期限	工事未著手線路區間

一、本表ハ軌道條例ニ依リ軌道敷設ノ特許ヲ得タル公共團體、會社、個人等ノ其事業ニ關スル年末現況及一箇年間ノ營業狀況ヲ調査報告スルモノトス

二、年末現在表ニハ事業年度ノ事業年度ノ曆年ニ據ラサルモノアルトキハ其年度未現在即チ其年十月ヨリ翌年三月ニ至ル迄ノ月チ年度末トスルトキハ其年度末ニ於ケル現在チ年末ノ分トシテ記載シ營業狀況表ニハ右年未現在ヨリ週年一箇年間ノ事實ヲ調査掲記スルモノトス

三、一會社ニシテ各地方ニ於テ運送事業ヲ營ムモノハ各地方毎ニ調査スルモノトス但シ其本社所在地ニ於テハ各地方ヲ通シタル資本金、積立金、營業收支、利益分配等ヲ報告スルコト

四、項目中全ク事實無キモノハ之ヲ除キ該當セサルモノハ新規ニ項目ヲ設ケ實際ノ景況ヲ明瞭ナラシムルコト

五、特許線路ハ本社又ハ事務所ノ所在地ニ於テ調査報告スルモノトス

六、表中ノ事實ニシテ前年度ト異動無キモノハ之ヲ省略シ其旨表尾ニ附記スルコト

七、營業ノ種類主業ノ項ニハ乘客運輸、貨物運輸又ハ乘客及貨物運輸ト記載シ副業ノ項ニハ電燈供給何々販賣等ト記載スルコト

八、原動力ノ欄ニハ電氣(水力又ハ火力)、蒸氣、石油發動機、馬(何頭率)人等ト區別記載スルコト

九、線路距離中營業線路欄ニハ起點終點間ノ長ヲ記入シ持避線、車庫引込線等ハ別欄ニ記載スルコト

一〇、公共團體ニ於テ軌道事業ヲ營ムモノハ其事業ニ投資シタル總額ヲ資本金總額ノ欄ニ掲クルコト

一一、積立金ノ名稱ヲ付セサルモ準備金等ニシテ積立金ト同性質ノモノハ各種積立金ノ欄ヘ記載スルコト

一二、職員積立金ハ記入ヲ要セス

一三、借入金ノ利率ハ最高利率ヲ記載スルコト

- 一四、用地ノ購入ヲ要シタルモノハ各費目ニ合記スルモノトス
- 一五、車輛欄客車貨車トモ附隨車ハ符號ヲ付シテ別記スルコト
- 一六、線路改築ニ伴フ増減ノ月日ハ實際開廢シタル月日ヲ記入スルコト
- 一七、單線ヲ複線トシ若クハ複線ヲ單線ト爲シタルモノアレハ其線路區間、距離及月日等ヲ備考ニ記載スルコト
- 一八、平均營業哩數ハ一箇年間ニ於ケル各月ノ營業哩程ヲ積算シ之ヲ一年中ノ日數ニテ除シタルモノヲ掲クルモノトス但シ貨車線ハ現ニ貨車ノ運輸ニ使用スル部分ノミノ哩程ヲ計算スルコト
- 一九、使用車輛數ハ毎日運轉ニ供シタル車輛數ヲ一箇年間積算シタルモノニシテ發車數ニ非ラス
- 二〇、運轉回數トハ使用車輛ガ發車シタル度數ヲ一箇年間積算シタルモノヲ謂フ
- 二一、走行哩數ハ營業線路距離間ヲ各車力運轉シタル哩數ヲ積算シタルモノニシテ車庫内及修繕ノ爲メ假線ヲ設ケタルモノ等ハ算入スヘカラス
- 二二、平均營業哩數、使用車輛數、運轉回數、走行哩數ハ電車又ハ原動車ヲ使用スルモノノミヲ調査シ馬車及人車ニ係ルモノ或ハ馬車人車ニシテ他ノ動力ヲ併用スルモノハ調査ヲ要セス
- 二三、乗客ノ欄ニハ通常、割引並ニ回數、定期、貸切、團體等ニ係ル總人員ヲ合記スルモノトス但シ定期乘客判然セサルモノハ一人二回乗車スルモノトシ又貸切車ニ係ル乘客判明セサルモノハ其ノ定員ヲ積算スルコト
- 二四、營業收入中雜收入ノ欄ニハ軌道運輸事業ニ關スルモノ及軌道運輸營業ト副業トニ分割シ能ハサルモノノミヲ掲記スルモノトス
- 二五、保存費ノ欄ニハ軌道、電線路、車輛、水路及各種建造物ノ修繕ニ係ルモノヲ掲ケ動力費ノ欄ニハ發電所、變壓所、配電所ニ係ル經費ト他所支拂電力料、燃料費、馬匹費等ヲ掲ケ運輸費ノ欄ニハ運輸員給料及被服費、切符製造費、車庫費其他運輸上ノ諸雜費ヲ掲ケ總係費ノ欄ニハ税金、給料及報酬、諸給與其他ノ雜費ヲ合記スルモノトス
- 二六、保存費、動力費、運輸費トモ各監督員ヲ合算スルコト
- 二七、公共團體又ハ一個人ノ營業ニ係ル利益金ニシテ積立金等ノ處分ヲ爲ササルモノハ利益金全部ヲ配當金ノ欄ニ記載スルコト
- 二八、利益金ノ上半期下半期ニ決算シタルモノハ各別ニ記載スヘシ
- 二九、運轉上事故件數並ニ死傷人員ニ對スル主モナル事故ハ其概況ヲ備考ニ記載スルコト
- 三〇、既ニ開業シタル軌道ニシテ一部工事中ノモノアレハ工事中ノ欄ニ記入シ符號ヲ付シテ區別スヘシ

◎茨城縣訓令甲第三十七號

本縣人口統計材料左記ニ依リ統計表ヲ以テ進達スヘシ
大正十一年十二月十四日

郡	市	役	所
町	村	役	場
茨城縣知事	守	屋	源次郎

人口統計材料統計表取扱手續

- 第一條 此ノ取扱手續ニ依リ統計表ヲ以テ進達スル人口統計材料ハ別記様式ニ依ル
- 第二條 別表ハ毎年十月一日ヲ期トシ其ノ日ノ現在數ヲ様式ニ示ス所ニ依リ調査記入スルモノトス
但シ大正十一年ニ限リ十二月三十一日ノ現在數ヲ該様式ニ依リ調査記入スルモノトス
- 第三條 市町村長ハ其ノ市町村ニ就キ(町村組合モ各町村ヲ分チ)別表一通ヲ毎年調製スヘシ
- 第四條 市長ハ別表一通ヲ調査ノ屬シタル年ノ十一月二十日迄ニ縣廳ニ、町村長ハ同十一月二十日迄ニ郡役所ニ、郡長ハ其ノ體裁及計數ヲ檢査シ並ニ誤謬ノ訂正ヲ爲スニ必要ノ手續ヲナシ各町村分チ取纏メ其ノ郡内ノ分チ集計シタル表ヲ添付シ同十二月二十日迄ニ縣廳ニ發送スヘシ
但シ大正十一年ニ限リ市長ハ翌年二月二十日迄ニ縣廳ニ、町村長ハ同二月二十日迄ニ郡役所ニ、郡長ハ前項ニ準シ同三月十日迄ニ縣廳ニ發送スヘシ
- 第五條 郡市長ハ統計表ヲ縣廳ニ發送スル場合ニ於テ左ノ雛形ニ依リ目錄ヲ添付スヘシ

目	錄	雛	形
年	月	日	何
市町村	人口及現住戶數	調	何
知	事	宛	表
郡	市	長	

(別記)

人口統計材料統計表様式

統計表ノ附表ハ別紙ニ調製シ用紙ハ美濃判トス

市町村出入口及現住戸數調 (毎年)

縣郡市町村名
大正 年十月一日現在

種別	出											計	
	本市町村ヨリ出寄留者 次ノ八項中ノ孰レカニ 當ル者ハ縱令出寄留者 ト雖本項ニハ之ヲ除ク	自郡内他郡市へ	他府縣へ	計	在陸海軍部隊艦船	在監者	在朝鮮	在臺灣	在樺太	在關東州	在外國		不在
男													
女													
計													

部	入			計
	本市町村へ寄留者	自郡内他郡市ヨリ	他府縣ヨリ	
本市町村本籍人口				
本市町村現住人口				
本市町村現住戸數				

附表第一

本市町村ニ住所寄留ヲ爲ス者ノ内更ニ他市町村へ住所外寄留ヲ爲ス者

計	自郡内他町村へ		自縣内他郡市へ		他府縣へ	計
	者	計	者	計		
道府縣外ヨリ						
道府縣内ニ						
本籍ナキ者						
計						

附表第二(再掲)本籍ナキ者、本籍分明ナラサル者及内地人以外ノ者

種別	本籍ナキ者		本籍分明ナラサル者		計
	男	女	男	女	
臺灣人					
朝鮮人					
計					

樺太人	
外人	
計	

一、市町村出入人口及現住戸數調中「出ノ部」ハ本市町村ノ本籍人口中本市町村外ニ在ル者ノ數「入ノ部」ハ本市町村内ニ本籍ヲ有セサル者ニツキ本市町村ニ寄留スル者ノ數ヲ調査ノ期日ニ於ケル現在ニ依リ其ノ年十月三十一日迄ニ知ルコトヲ得タルモノヲ調査記入スルモノトス

一、出ノ部中「本市町村ヨリ出寄留者」ノ項ニハ本市町村ニ本籍ヲ有シ他ノ市町村ニ住所寄留又ハ居所寄留ヲ爲ス者ノ數ヲ調査記入スルモノトス

一、入ノ部「本市町村へ寄留者」ノ項ニハ本市町村ニ住所寄留又ハ居所寄留ヲ爲スモノノ數ヲ調査記入スルモノトス但シ本市町町ニ住所寄留ヲ爲ス者ニシテ更ニ其ノ市町村内ニ住所外寄留ヲ爲ス者ハ住所外寄留ノ一ヲ採ルモノトス

本市町村ニ住所寄留ヲ爲ス者ニシテ更ニ他市町村へ住所外寄留ヲ爲ス者ハ之ヲ本項ニ計上セサルモノトス

一、本市町村ニ住所寄留ヲ爲ス者ニシテ更ニ他市町村へ住所外寄留ヲ爲ス者ノ數ハ附表第一ノ各相當欄へ其數ヲ記入スルモノトス

一、本籍ナキ者、本籍分明ナラサル者、朝鮮人、臺灣人、樺太人、外國人ニシテ本市町村ニ寄留スル者ノ數ハ本表「道府縣外ヨリ」ノ項へ記入シ附表第二ノ各相當欄へ再掲記入スルモノトス

一、「本市町村現住戸數」ハ調査ノ期日ニ於ケル本市町村ノ世帯數ニシテ本籍人タルト非本籍人タルト又戸籍上戸主タルト戸主タラサルトトテ問ハス總テ其ノ地ニ現住スル者ノ世帯數ヲ其ノ年十月三十一日マテニ知ルコトヲ得タル所ニ依リ調査記入スルモノトス

官舎、社寺、學校、病院、工場、役場等ノ構内ニ居住スルモノ別ニ世帯ヲナスモノハ之ヲ一戸トシテ調査記入スルモノトス

一、本表本籍人口ハ戸籍簿ニ依リ出入寄留ハ實地ニ就キ調査記入シ且ツ其ノ旨備考ニ説明スルモノトス

一、「本市町村現住人口」ハ「本市町村本籍人口」ノ欄ニ記入セル各數ニ「入ノ部」計ノ行ノ相當欄各數ヲ加へ「出ノ部」總計ノ行ノ相當欄各數ヲ引去リテ得タル數ヲ記入スルモノトス

◎茨城縣訓令第三十八號

大正十一年十一月二日閣令第八號人口動態調査令施行細則取扱手續左ノ通相定ム

大正十一年十二月十四日 茨城縣知事 守屋源次郎

人口動態調査令施行細則取扱手續

第一條 人口動態調査令施行細則第五條ニ關シテハ町村長ハ翌年一月二十日迄ニ郡長ニ、郡市長ハ翌年一月末日迄ニ知事ニ報告スヘシ

第二條 人口動態調査令施行細則第八條及第十二條ニ依ル進達期限ハ前月分ヲ町村長ハ毎月五日迄ニ郡長ニ、市長ハ毎月十日迄ニ知事ニ、郡長ハ之ヲ毎月二十五日迄ニ知事ニ進達スヘシ

第三條 郡市町村長ハ人口動態調査票送致目錄書留簿ヲ別記様式ニ依リ備へ置キ郡長ハ書留簿ニ市町村長ハ人口動態票ノ記入ト同時ニ其ノ記入ヲ爲スヘシ

第四條 市町村ノ廢置分合、境界變更又ハ名稱變更アリタル場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ旨直ニ知事ニ報告スヘシ

附 則
本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

自大正 年
至大正 年

人口動態調査票市町村送致目錄書留簿

何市役所(町村役場)

注意

- 一、大正十二年分ヨリ本様式ニ依リ調製スルモノトス
- 一、本簿ハ數年繼續記入シ若ハ一年限リ記入スルモ適宜トス
- 一、人口動態調査票進達後下戻送其他異動ヲ生シタルトキハ本簿モ必訂正スルヲ要ス

本籍者 及本籍不明者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	一月		二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		計 枚數
					枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	
五	自第一號 至第五號	二	自第一號 至第二號	二	自第一號 至第二號	八	自第一號 至第六號																						
二	自第一號 至第二號	一四	自第一號 至第四號	一〇	自第一號 至第五號	ナシ		ナシ																					
二	自第一號 至第二號	ナシ		ナシ																									

自大正 年 年
至大正 年 年
人口動態調査票郡 市町村 送致目録書留簿

注意
一、大正十二年分ヨリ本様式ニ依リ調製スルモノトス
一、本簿ハ數年繼續記入シ若ハ一年限り記入スルモ適宜トス
一、人口動態調査票進達後下戻追送其他異動ヲ生シタルトキハ本簿モ必訂正スルヲ要ス

何 郡 役 所

郡送致目録之部

本籍者 及本籍不明者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	本籍者 ノ出生、死、 婚姻、離婚、 死亡	一月		二月		三月		四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		計 枚數
					枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	枚數	番 號	
五	自第一號 至第五號	二	自第一號 至第二號	二	自第一號 至第二號	八	自第一號 至第六號																						
二	自第一號 至第二號	一四	自第一號 至第四號	一〇	自第一號 至第五號	ナシ		ナシ																					
二	自第一號 至第二號	ナシ		ナシ																									

町村送致目録之部

質屋ノ金利歩合(報告期町村ハ翌年二月末日限) 大正 年

最	拾	圓	ニ	對	ス	ル	月	均	最	壹	圓	ニ	對	ス	ル	月	均
厘	高	最	低	平	均	最	壹	圓	高	最	對	ス	低	平	均		

(注意)

一、平均ハ各店一箇年間ノ平均ニシテ最高最低ハ各店一箇年間ノ最高、最低ヲ掲クヘシ

市町村費(義損金)ニテ救済シタル戸數、人員及金額(報告期町村ハ翌年二月末日限) 大正 年

火	災	救	濟	シ	タル	支	出	シ	タル	金	額
水	災	戸	數	一	人	員	支	出	シ	タル	金
風	災	避	難	所	費	食	料	費	被	服	費
貧	困	治	療	費	小	屋	掛	費	就	業	費
何	々	雜	支	出	合	計					
合	計										

(注意)

一、義損金ニテ救済セラレタル者アルトキハ各相當欄ニ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

諸 市 場(報告期町村ハ翌年二月末日限) 大正 年

市場名稱	賣買品目	一箇年間取引高	所在地名	開市日	創始年
------	------	---------	------	-----	-----

--	--	--	--	--	--

(注意)

一、一箇年取引高ハ開市日數ニ關ハラス賣買シタル總金高ヲ記入スヘシ

物 價 (報告期町村ヨリ直接縣廳ヘ翌月五日限) 大正 年

品 種	立 物 名 稱			平 均 相 場
	種	種	種	
支 米 一 石	上	中	下	
白 米 同	上	中	下	
外國白米 同	上	中	下	
大 麥 一 石				
標 麥 同				

杉 角 材	同	松 角 材 <small>(二間物)</small> 本	洋 釘	同	洋 塊 鐵	同	和 塊 鐵	同	藍 玉	一 貫 目	麻	百 斤	海 氣	同	花 色 絹	一 反	生 糸 百 斤			晒 木 綿	一 反	洋 產 綿 糸	同	紡 績 綿 糸	同	洋 產 縹 綿	同	和 產 縹 綿	同	黑 砂 糖	同
																	下	中	上												

洋 赤 砂 糖	同	和 赤 砂 糖	同	洋 白 砂 糖	同	和 白 砂 糖	百 斤	澤 庵	同	梅 干 <small>(四斗入)</small> 樽	一 升	牛 乳	百 箇	鷄 卵	百 箇	牛 肉	百 斤	鯉 節	一 貫 目	茶 <small>(番茶粉茶 ヲ除ク)</small>	百 斤	味 噌	一 貫 目	醬 油	同	清 酒	同	食 鹽	同	小 豆	同	大 豆	同	小 表	同
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------	--------	--------	---	-------------------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------------	------------------------------------	--------	--------	-------------	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---

一、前月若クハ前年ニ比シ相場著シキ高低ヲ生シタルモノアルトキハ其ノ理由ヲ備考ニ記スヘシ本表ハ水戸市、太田町、土浦町、下館町、古河町ニ限リ調査報告スヘシ

賃 錢	農 作 年 雇		農 作 日 雇		米 搗 (日給)	養 蠶 職 (日給)		蠶 絲 繰 女 (日給)	機 織 職 (日給)		陶 器 甃 職 (日給)	塗 師 職 同	筋 職 同	袋 物 職 同	
	女	男	女	男		女	男		女	男					
	最 高 錢		普 通 錢			最 低 錢									

染 物 職 同	和 服 仕 立 職 同	洋 服 仕 立 職 同	木 挽 職 同	大 工 同	左 官 職 同	瓦 葺 職 同	家 根 職 同	煉 瓦 製 造 職 同	煉 瓦 積 職 同	指 物 職 同	經 師 職 同	疊 刺 職 同	建 具 職 同	石 工 同	植 木 職 同	菓 子 製 造 職 同	下 駄 職 同

- 仕、小使及生絲工場ニ於ケル教婦等ヲ含ム其ノ員數ノ計算方亦前項ニ同シ
- 一五、職工ノ賃金ハ賄、被服等又ハ其ノ代價ヲ別ニ給與スルモノニ在リテハ之ヲ賃金ニ合算シタルモノヲ記入スヘシ
- 一六、職工一日就業時間ハ休憩及食事時間ヲ除キタル普通職工ノ就業時間ヲ記入スヘシ
- 一七、休憩時間ハ食事時間ヲ包含ス
- 一八、一箇年間原料需要高ハ製造工業ニ在リテハ之ヲ記入スヘシ
- 一九、精米、修履、織物整理、染物、洗濯等ノ如キ加工目的トスル工場ニ在リテハ加工品ノ數量及加工賃ヲ記入スヘシ
- 二〇、製品ノ種類ハ成ル可ク細別シテ記入スヘシ
- 二一、數量ノ欄ニハ貫、斤、噸、捆、俵、箇等其ノ單位ヲ記入スヘシ
- 二二、本表ニ記入スル數字ハ十百千萬等ノ數字ヲ略シ一萬三千六百五「一三、六〇五」ノ如ク記入スヘシ
- 二三、本表ハ鑛業ニ限リ調査報告スヘシ

諸作物被害段別及損耗高 (報告期町村ハ翌年三月末日限 郡市ハ翌年四月末日限) 大正 何 年

水	陸	大	小	稗	大	小	大	小	蕎	水		旱		風		蟲		其		計
										段別	損耗高	段別	損耗高	段別	損耗高	段別	損耗高	段別	損耗高	
稻	稻	稻	麥	麥	麥	豆	豆	豆	麥											

(注意) 一、本表ハ農商務統計報告規程第二條ニ依リ臨時報告ヲ爲シタルモノモ總合シテ記入スヘシ

菜	綿	藍	煙	桑	其	計
種	種	草	草	他	他	

(注意) 一、本表ハ左記ノ河岸所在地ノ町村ニ於テ其ノ年一々年間其ノ河岸ニ出入シタル船舶ニ付調査スヘシ

何河岸出入船舶 (報告期町村ハ翌年三月末日限 郡市ハ翌年四月末日限) 大正 何 年

備考	入	出	汽		西		風		帆		日本形商船(積石五十石以上)
			艘數	噸	艘數	噸	艘數	噸	艘數	噸	

- 一、本表ハ左記ノ河岸所在地ノ町村ニ於テ其ノ年一々年間其ノ河岸ニ出入シタル船舶ニ付調査スヘシ
- 小川河岸、銚田河岸、大船津河岸、牛堀河岸、土浦河岸、高濱河岸、水海道河岸、宗道河岸、境河岸、取手河岸、野木崎河岸
- 一、出入船舶ノ調査ハ其ノ河岸力航行ノ終始地點タルト或ハ航行中寄航シタルト又定期不定期ノ別ナク總テ航行ノ出入毎ニ調査スルモノトス

一、備考ニハ其ノ年ノ船舶出入状況ヲ記述スヘシ

何河岸輸出入貨物 (報告期 町村ハ翌年三月末日限 郡市ハ翌年四月末日限)

大正 何 年

備考	元價合計	其他	輸 出		輸 入		摘 要
			數量	元價	數量	元價	
何				圓		圓	
何				圓		圓	
其ノ他							
元價合計							

(注意)

- 一、本表輸出入貨物ハ左記ノ河岸所在地ノ町村ニ於テ其ノ年一ケ年間船舶ニ依リ輸出入シタル貨物ニ就キ調査スヘシ
小川河岸、銚田河岸、大船津河岸、牛堀河岸、土浦河岸、高濱河岸、水海道河岸、宗道河岸、境河岸、取手河岸、野木崎河岸
- 一、本表輸出入貨物ノ品目ハ別記セサルモ其ノ一ケ年間ニ於テ輸出入元價合計一千圓以上ニ達スルモノニ付調査記入スヘシ但シ輸出入元價一千圓ニ滿タサルモノハ其ノ元價ヲ合算シテ其ノ他ノ欄ニ記入スヘシ
- 一、輸出入貨物ノ數量ハ各貨物ニ添付スル送狀等ニ就キ調査ヲナシ其ノ普通稱呼スル數量單位ニ換算記入スヘシ但シ俵、樽、桶等ノ稱呼ヲ用フルモノハ其ノ内容ヲ摘要ニ於テ説明スヘシ
- 一、元價ハ各貨物ニ添付スル送狀ニ記載シタル元價ニ依リ調査スヘシ但シ元價記載ナキモノ或ハ不明瞭ナル場合ニハ其ノ貨物ノ賣買價格ヲ以テ算出記入スヘシ
- 一、摘要欄ニハ其ノ貨物ノ主要ナル仕出地仕向地ヲ記入スヘシ
- 一、備考欄ニハ其ノ年ノ船舶輸出入ノ状況等ヲ記述スヘシ

呼チ用フルモノハ其ノ内容ヲ摘要ニ於テ説明スヘシ

一、元價ハ各貨物ニ添付スル送狀ニ記載シタル元價ニ依リ調査スヘシ但シ元價記載ナキモノ或ハ不明瞭ナル場合ニハ其ノ貨物ノ賣買價格ヲ以テ算出記入スヘシ

一、摘要欄ニハ其ノ貨物ノ主要ナル仕出地仕向地ヲ記入スヘシ

一、備考欄ニハ其ノ年ノ船舶輸出入ノ状況等ヲ記述スヘシ

茨城縣訓令甲第二十一號

郡 市 役 所
町 村 役 場

茨城縣知事 岡 田 宇 之 助

統計事務講習規程左ノ通相定ム

大正四年四月二十六日

統計事務講習規程

- 第一條 統計事務ノ改良發達ヲ圖ル爲統計事務講習會ヲ設ク
- 第二條 統計事務講習會ニ會長一名ヲ置キ内務部長ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 本講習會ノ會期ハ三日以上トシ左ノ科目ニ就キ講習ス
 - 一、簡易ナル統計ノ理論及方法
 - 一、各種統計實務心得
- 第四條 本講習會ノ講師ハ本縣官吏、吏員若ハ臨時ニ囑託シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 第五條 本講習員タル者ハ郡市町村統計事務ニ従事スル者又ハ郡市長ニ於テ講習ノ必要アリト認メタル者トス
- 第六條 本講習會ハ郡市長ノ申請アリタルトキ之ヲ開設ス但シ場合ニ依リ郡市長ノ申請ヲ待タズ開設スルコトアルヘシ
 - 前項ノ申請書ニハ講習員ノ員數、期日及場所ヲ記載シ少クトモ開會七日前ニ差出スモノトス
- 第七條 講習員ニハ出席日數其ノ他ヲ査定シ左ノ書式ノ證書ヲ授與ス

講 習 證 書

氏

名

右ハ大正何年 月 日ヨリ何日間何郡(市)何町(村)ニ開キタル茨城縣統計事務講習會ニ於テ規定ノ科目ヲ講習シタルコトヲ證ス

年 月 日 氏 名
會、長 官 職 氏 名
講 師 官 職 氏 名
(講師ハ各連署ス)

茨城縣訓令甲第十九號

統計事務效績者表彰規程左ノ通定ム
大正六年六月十八日

統計事務效績者表彰規程

- 第一條 統計事務ニ關シ其ノ成績顯著ナル者ハ本規程ニ依リ之ヲ表彰ス
 - 第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ其ノ事由ヲ知事ニ具申スヘシ
 - 一、統計事務上效績顯著ナル者
 - 二、統計調査員及篤志者ニシテ統計上特ニ功勞アル者
 - 三、市町村其ノ他公設團體、學校、市町村ノ調査區ニシテ統計資料ノ蒐集製表及整理等他ノ模範ト爲スニ足ルヘキモノ
 - 四、統計ニ關スル特殊ノ施設又ハ考案ヲ爲シ裨益アリト認ムル者
- 茨城縣訓令甲第二十二號

茨城縣知事 寺 原 長 輝
知 事 官 房
內 務 部
警 察 部
郡 立 學 校
縣 市 役 所
力 石 雄 一 郎

郡 市 役 場
町 村 役 場

郡市町村事蹟調査ニ關スル規程左ノ通相定ム
明治三十八年七月二十六日

茨城縣知事 寺 原 長 輝

- 第一條 郡市役所町村役場ハ其ノ管内ノ事蹟ヲ明ニスル爲郡役所ハ適宜簿冊ヲ製シ市役所、町村役場ハ事蹟簿ヲ備ヘ之ニ登錄スヘシ
 - 第二條 市役所町村役場ニ備フヘキ事蹟簿ハ別冊様式ニ依ルヲ要ス但シ様式ニ示サ、ル事項ニシテ登載ノ必要アリト認ムルモノ又ハ様式ニ示シアルモ其事實ナキモノハ適宜増減スルモノトス
 - 第三條 各簿ニ登載スヘキ事項ニシテ縣廳郡役所等ニ報告ヲ要スルモノ又ハ別ニ調査ノ規程アルモノハ其ノ材料ニ依リ其ノ他ハ特ニ調査ヲ送ケ記入スヘシ
 - 第四條 郡役所ニ於テ調製スヘキ簿冊ハ毎年之ヲ更新シ又ハ數年間繼續記入シ市役所町村役場ニ備フヘキ事蹟簿ハ三ヶ年繼續記入スルモノトス(三十九年九月二十六日縣訓令第二十五號改正)
 - 第五條 各簿ハ一ヶ年分記入完結ノ都度郡市長ハ知事、町村長ハ郡長ニ提出シテ査閱ヲ受ケルヲ要ス(同上)
 - 第六條 本規程ニ依リ設ケル簿冊ハ永久保存スルヲ要ス
- 附 則
- 第七條 本規程ハ明治三十八年ノ事實(年度ニ係ルモノハ明治三十七年度)ヨリ適用ス

事蹟簿目次

土地	一、瀑布	一、人口及戶數
地勢	一、礦泉	一、現住戶數及人口職業別
管轄沿革	一、公園	一、出生及死亡
面積及廣袤	一、名勝及舊蹟	一、本籍人死亡原因
字名	一、官民有地段別	一、婚姻及離婚
役場位置	一、民有租地細別	一、在留外國人
所管及所在管署	一、民有免租地(荒地)細別	一、農 業
山嶽	一、民有免租地細別	一、農 家
原野	一、地價最高最低及平均	一、農業教育ヲ受ケタル者
河川	一、耕地整理地	一、耕作地段別
湖沼	一、耕地整理地	一、一毛作及二毛作以上作田地反別

- 牛馬耕ヲ爲シ及爲サザル田畑段別
- 桑畑及茶畑段別
- 耕作用牛馬
- 農作物
- 綠肥用作物
- 果實
- 苗木
- 繭種
- 製茶
- 畜産
- 民有林野ノ放牧場
- 家畜頭數
- 家畜出產斃死
- 乳牛
- 屠畜
- 家禽
- 家畜產卵
- 乳肉製品
- 山林
- 森林原野面積
- 學校林箇所面積
- 民有野開墾
- 造林用苗木
- 民有林野人工造林
- 民有林野天然造林
- 民有林伐採
- 林野產物
- 石類

- 土石雜類
- 鑛山
- 試掘
- 探掘
- 砂鑛
- 水産
- 主要ナル漁場
- 漁業戸數及漁業者
- 漁船
- 難波漁船
- 漁獲物
- 水産製造物
- 水産養殖
- 洋漁業
- 工業
- 蠶糸類及真綿
- 織物
- 染物
- 醸造物
- 諸工産物
- 貨物
- 商業
- 諸營業者
- 市場
- 汽船貨物品類
- 主要品相場
- 米多小賣相場
- 金融
- 銀行預金

- 銀行貸付金
- 銀行諸手形
- 質屋ノ貸金
- 郵便爲替
- 諸種ノ産業機關
- 商業會議所
- 市町村農會
- 銀行
- 會社
- 工場
- 産業組合
- 同業組合
- 講習所
- 講習會
- 品評會
- 交通
- 各地ノ里程
- 道路延長
- 橋梁箇所
- 著名橋梁
- 汽車ノ旅客荷物及貨錢
- 汽船ノ旅客貨物及貨錢
- 郵便電信
- 諸車
- 船舶
- 教育
- 學齡兒童及就學不就學
- 學齡兒童不就學ノ理由
- 小學校

- 小學校教員及學校醫
- 小學校兒童
- 市町村立小學校教員月俸
- 幼稚園
- 幼稚園保母及幼兒
- 公私立諸學校
- 公私立諸學校教員學校醫及生徒
- 圖書館
- 公學費
- 公學收入
- 公學資産
- 公學資金
- 學校兒童貯金
- 青年團
- 衛生
- 病院醫師藥劑師等
- 病院細別
- 傳染病
- 種痘
- 兵事
- 徵兵人員
- 徵兵受檢者体格
- 赤十字社員及年釀金
- 愛國婦人會員及年釀金
- 在郷軍人分會
- 神社
- 神社及神職
- 著名ノ神社

- 寺院及住職
- 著名ノ寺院佛堂
- 教會及教師
- 褒賞及救育
- 受賞者ノ成績
- 賞品ノ種類
- 褒章受領者
- 罹災救助
- 國費救恤
- 棄兒養育
- 旅行病死人
- 育兒
- 施藥救療
- 子守(下婢)(貧兒)教育
- 貯蓄
- 郵便貯金
- 貯蓄銀行貯蓄
- 共同貯蓄
- 災害
- 消防組
- 火災
- 天災地異
- 租稅總額
- 國稅
- 縣稅
- 市町村稅
- 區及部落費

- 公共組合費
- 市町村稅ノ課率
- 區及部落費課率
- 租稅滯納人員及金額
- 市町村稅滯納處分
- 區及部落費滯納處分
- 財政
- 市町村歲入出總額
- 市町村歲入
- 市町村歲出
- 區及部落歲入
- 區及部落歲出
- 市町村財產
- 市町村債
- 議會及條例規則
- 議員
- 市町村會議員階級別
- 市町村會及區會
- 市町村條例
- 市町村規則
- 吏員及文書
- 市町村吏員
- 文書處理
- 雜事
- 主要ナル公私ノ施設

附

錄

◎官發一五六六號
明治四十三年十月十九日

(大正五年八月二十八日)
官發二七五號依命通牒
ニ依リ一部改正

各 郡 市 長 宛

茨 城 縣 知 事 官 房

依 命 通 牒

水害及霜雹旱害等ノ農業上ノ災害ニ關シテハ明治四十二年三月本縣訓令甲第十號農商工ニ關スル報告規程第二條ニ依リ臨時御報告相成
居候處報告區々ニシテ災害調査統一上不便不尠候ニ付自今各場合ニ應シ別記様式ニ依リ御報告相成度

追テ病虫害ノ場合ニハ明治四十一年六月勸發第三五四號通牒ノ様式ニ依リ御報告相成度尙其際病虫害ノ損害ヲ見積リ得ル場合ニアリ
テハ其見積高モ併セテ御報告相成度又水害及霜害ニ關シテハ其被害ノ激甚ナル場合ハ見込付キ次第其地方ヲ左ノ色別ニシタル略圖調
製ノ上御送付相成度

水害ノ場合 青色 (被害激甚ナル地方ハ特ニ濃色トス)
霜害ノ場合 赤色 (同 上)

甲號電報(電話)報告(緊急ノ場合)

田、桑園、桑園以外ノ畑別被害(水産ノ場合ニハ浸水トス)

面積(反ヲ單位トス)被害地方(何町村地方又ハ河川沿岸等)

被害主要農産物ノ損害見込額(但シ推定シ得ル場合ニ限り報告ノコト)

乙號様式ノ一 農作物被害調 (概數ノ稍明トナリタル時期ニ於テ)

種 別	田		畑 (桑園ヲ除ク)		桑 園		合 計	
	被害面積 反	被害見積高 圓	被害面積 反	被害見積高 圓	被害面積 反	被害見積高 圓	被害面積 反	被害見積高 圓
(イ) 流失又ハ埋没シタルモノ								
(ロ) 滯水ノ爲收獲皆無ノモノ								
(ハ) 同上五割以上減收ノモノ								

計	
合	

備考

一、霜、雹、風、旱等ノ害ニ關シテハ本表中「流失又ハ埋没シタルモノ」ノ全部及次項中「滯水ノ爲」ノ四字ヲ除ク
 二、作物ノ種類ハ本表ニ記載ノ外特ニ其ノ地方ニ重要ナルモノヲ記シ其ノ他ノ「其ノ他」中ニ合算シ其ノ品種名ヲ説明スヘシ
 丙號様式ノ二 桑園被害調 (調査ノ充分出來タル時期ニ於テ)

段	數	價	葉ノ枯凋セルモノ		枝條ノ枯死セルモノ		同様に枯死セルモノ	
			反	貫	反	貫	反	貫
			圓	圓	圓	圓	圓	圓
計			圓	圓	圓	圓	圓	圓

丙號様式ノ三 養蠶被害調 (調査充分出來タル時期ニ於テ)

種	別	數	價	額	被害前ノ豫想高		被害減少額		備考
					圓	圓	圓	圓	
天	(作)								同
春	(秋 夏)								一石ノ價
蠶	蠶								
蠶									
計									

◎文發第六〇號

大正十年九月十七日

各郡市 長宛
通牒

知事官房文書課長

大正十年六月二十八日農商務省令第十九號農商務統計報告規則ニ依リ御報告ノ馬表ニハ調査上必要有之候ニ付本年ノ事實ヨリ毎年左ノ様式ニ依リ取調添附相成度

馬匹市町村別

大正 年十二月末日現在

市町村名	馬		駒		合計
	牝	牡	牝	牡	
合計					

◎文發第一〇號

大正十一年一月十三日

各郡市 長宛
通牒

知事官房文書課長

大正十年十二月二十八日農商務省令第四十三號ヲ以テ工場統計報告規則改正ニ依リ取扱ハルヘキ工場ノ範圍擴大サレ從來工場票提出ヲ要セサル工場モ亦之カ適用ヲ受ケ右ハ本邦工業狀態ヲ闡明ニスル上ニ最も重要ノモノニシテ左記注意事項ニ充分御留意ノ上漏ナク御提出相成候様致度

記

大正十年十二月二十八日農商務省令第四十三號ヲ以テ工場統計報告規則カ改正サレ從來ノ職工平均一日五日以上ヲ使用スル工場ノ外左

記二、三項ノ工場モ該規則ヲ適用セラレ範圍モ擴大サル以下工場ニ就テ説明セントス

工場

本省令ニ依リ報告スヘキ工場トハ家内工業ト否トチ間ハス製造、變造、修履、裝飾、精整其ノ他ノ加工業、包裝業、荷造業、電氣又ハ瓦斯供給業、印刷業、寫真業、製煉業其ノ他各種ノ工業ヲ管ムモノヲ謂フ

但シ探鑛業中央官廳直轄ノ(工場、學校又ハ試驗場附屬工場)監獄内ノ工場、府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ直接經營スル工場又ハ實業學校、試驗場、講習所等ニ附屬スル工場ニシテ教師及生徒ニ依リ實習的ニ作業セラル、モノハ調査ニ及ハス
工場ニハ一定ノ建物ノ有無ニ拘ハラス住家ノ一部ニ於テ作業スルモノ例ヘハ店先、座敷、土間又ハ倉庫、小屋ニテ作業スルモノモ之レヲ包含ス

但シ石切ノ如キ庭先又ハ路傍ニ於テ作業スルモノ其ノ他一時限リ若クハ轉々シテ作業ニ從事スルモノ例ヘハ大工左官等ニシテ自家ニ工場ヲ設ケス日々他ノ請負事業ヲ爲シ其ノ工事ノ終了ト共ニ隨時建築工場ヲ移轉シ若シクハ廢止スルモノ、如キハ工場ト認メス

工場統計規則適用ノ工場

- 一、本票ハ工場所有主ノ會社タルト個人タルトチ間ハス直接作業ニ從事スル者平均一日五人以上ヲ使用スル總テノ事業主ヨリ毎年十二月三十一日現在ニ依リ調査報告スヘキモノトス
- 二、本票ハ(票様式十四、原動機及電動機)ヲ使用スル工場ハ工場所有主ノ會社タルト個人タルトチ間ハス又直接作業ニ從事スル者平均一日五人以上ヲ使用スルト否トニ拘ラス事業主ヨリ毎年十二月三十一日現在ニ依リ調査報告スルモノトス
- 三、本票ハ工場法施行令第三條ニ掲クル左記事業ヲ營ム工場ハ會社タルト個人タルトチ間ハス又直接作業ニ從事スル者平均一日五人以上ヲ使用スルト否トニ拘ラズ事業主ヨリ毎年十二月三十一日現在ニ依リ調査報告スヘキモノトス

工場法施行令第三條ニ掲クル事業

- 一、毒劇物又ハ毒劇藥ノ製造
- 一、動物ノ剝製
- 一、金屬ノ熔融又ハ精煉
- 一、水銀ヲ用キル計器ノ製造
- 一、燐寸ノ製造

一、火藥爆藥又ハ火工品ノ製造又ハ取扱

- 一、塗料又ハ顔料ノ製造
- 一、「エーテル」ノ製造
- 一、溶劑ヲ用キル護膜製品ノ製造
- 一、脂肪油ノ精製
- 一、溶劑ヲ用キル油脂ノ採取
- 一、「ボイル」油ノ製造
- 一、礦油ノ蒸溜又ハ精製
- 一、乾燥油又ハ溶劑ヲ用キル擬革紙布又ハ防水紙布ノ製造
- 一、亞鉛酸瓦斯鹽素瓦斯又ハ水素瓦斯ヲ用キル事業
- 一、金屬、骨、角又ハ具殼ノ乾燥研磨
- 一、硝子ノ製造腐蝕砂吹又ハ粉碎
- 一、織物又ハ編物起毛
- 一、製 棉
- 一、麻ノ梳解
- 一、其ノ他農商務大臣ノ命令ヲ以テ指定シタル事業

票式ニ就テ

- 一、本票ハ之ニ依テ本邦工業ノ盛衰品種生産力職工賃金等ヲ知ラント欲スルニ在リ故ニ票裏ノ注意事項熟讀ノ上成ルヘク精確ノ報告ヲ要ス
- 一、前年調査ノ事實ト本年ノ事實ト甚シク相違アル場合ニハ其ノ旨記載シ附箋ヲ貼用サレ度
- 一、八職工數欄平均一日使用數ト年末現在ノ職工數ハ是迄往々誤解ヲ招キ照復應答ノ繁ヲ煩ハセシハ遺憾ナリ之レカ算出ニ就テハ注意八第一項參照平均一日使用數ヲ算出スヘシ年末現在數ハ其ノ年ノ年末現在ノ員數ヲ掲載スヘシ
- 一、年末休業ノ工場ニ在リテハ作業休止當時ノ員數ヲ一定ノ季節ノミニニ作業スル工場ニ在リテハ其ノ季節ニ於ケル常態ノ一日ノ員數ヲ記入スヘシ右方法ヲ以テ算出セシ時ハ平均一日使用數ト年末現在職工數ト其ノ員數一致スルハ甚タ稀ナルヘシ夫レトモ偶然一致スル場

合ハ右算出ニ依ルモ一致スル旨記載シ附箋ヲ貼用サレ度

- 一、一〇實働時間別職工數欄ハ年末現在職工ヲ實働時間別ニ區別セル故其ノ員數ハ一致スヘキモノニ付注意サレ度
 - 一、一四原動機及電動機欄ハ注意一四ノ如ク運轉休止ノ原動機電動機ト雖モ記入スヘキニ就キ注意サレ度
- 本欄本縣原動機取締規則ニ依リ設置スル原動機ノ機關數及實馬力數ハ大正八年一月二十日茨城縣令第一號原動機取締規則第四條第一項ノ認可證ニ依リ記入スヘシ

水車ノ馬力計算方法

一秒時ノ流水ノ速力(呎)ニ水ノ幅ト深トヲ乘シ(圓管ノ場合ニハ出口ノ管ノ斷面積×流速)之ニ一立方呎ノ水ノ重量即チ六十封度五ト

- 水ノ高サ(落差)ヲ乘シ之チ一秒時ノ馬力五百五十封度ヲ以テ除シ更ニ能率ヲ乘スルコト
- 下射 水車(下タ受ケモノ)能率〇・三五〇〇、五〇〇
- 上射 水車(上ハ受ケモノ)同 〇・六五〇〇、七〇〇
- 胸射 水車(中受ケモノ)同 〇・五五〇〇、六〇〇
- 過 漩 水車(西洋形タービン式ノモノ)同 〇・七五〇〇、八〇〇

本欄機關數馬力數カ前年ト相違セル場合ハ(或ハ機關ヲ新設セシヤ又設置換セシヤ)ノ理由ヲ付シ附箋ヲ貼用サレ度

- 一、本票欄外「工場法適用ノ有無」欄ハ注意一九參照其ノ適用ノ有無ニ依リ則チ「適用」ノ文字記入スヘシ
- 一、本票欄外道府縣第 號欄記入ヲ要セサルニ付注意サレ度

◎文第一三三號

大正十一年二月二十二日

各 郡 市 長 宛

通 牒

知 事 官 房 文 書 課 長

工場法施行令第三條ニ揭クル事業ヲ營ム工場ニ就テハ左記商工局長通牒ノ次第モ有之候得共工場統計報告規則ニ依リ調査可相成同規則第一條第一項第三號ノ同工場ハ統計事務上ノ都合有之ニ付事實工場法ヲ適用シ居ルト否トニ不拘苟モ同規定ノ事業ヲ營ム工場ハ總テ之ヲ包含スルモノトシテ御調査相成候様致度

商工局長 通牒 拔萃 (大正五年八月十七日附工局第九〇二號) (ヲ以テ知事宛(工場課)へ通牒)

施行令第三條ハ職工ノ員數ニ拘ラサル精神ナルカ工場トシテ形態實質ヲ備フルヤ否ヤ疑ハシキモノニ付テハ之レヲ工場トシテ取扱ハサ

ルモ可ナリ而シテ職工常時五人未滿ノモノハ工場トシテ許可ヲ受ケタルモノハ格別其ノ然ラサルモノハ適宜其ノ取扱方ニ參酌ヲ加ヘラレ可然ト考フ

◎文發四六號

大正十一年三月二十七日

各 郡 市 長 宛

農商務統計報告ニ關スル件依命通牒

大正十年六月二十八日農商務省令第十九號農商務統計樣式ニ左記種目ヲ追加候條其ノ旨町村へ御示達ノ上爾今右ニ依リ御取扱相成度様式追加事項

第二、米第一回豫想收穫高

備考ニ左ノ事項ヲ加フ

- 一、前年及平年ニ比シ收穫豫想増減ノ事由(本項ハ第五參豫想收穫高ニ適用ス)
- イ、作付反別ノ増減ニヨル影響
- ロ、肥培方法ノ如何ニヨル影響
- 二、水稻(粳米、糯米ニ區別ノコト)陸米ノ作付豫想反別、收穫豫想高、同上ニ反步當合計(本項ハ第三米第二回豫想收穫高ヲ適用ス)

第三、米第二回豫想收穫高

記事欄ニハ第一回豫想報告後ノ出來事等ヲ叙シ今回ノ豫想ヲナスニ至レル理由ヲ記述スルコト

第四、米

陸米ヲ粳米、糯米ニ區別記載ノコト

第七、食用農産物

蒟蒻芋ノ次ニ「大豆」「薯蕷」ヲ加フ

第八、園藝農産物

果實ノ第一批杷ノ次ニ「李」ヲ加フ

果實ノ第二批葡萄ノ次ニ「無花果」ヲ加フ

- 蔬菜及花卉ノ第二花百合ノ次ニ「扁蒲」ヲ加フ
 蔬菜及花卉ノ第三蕃椒ノ次ニ「薺」ヲ加フ
 第九、工藝農產物第一
 除虫菊ノ次ニ「桑葉」「茶葉」ヲ加フ
 第一二、桑畑
 備考ニ「合計反別ヲ早、中、晚」ニ區別シテ記載ノコト
 第二九、鶏
 産卵百個ニ付價格ノ一欄ヲ設クルコト(本項ハ第三〇章第三一、七面鳥ニ適用ス)
 第三四、會社
 備考ニ「支店、出張所」ヲ夫々記載ノコト
 第三六、綿織物
 其ノ他ノ項ヲ「足袋底綿布」其ノ他」ニ區別ス
 第四八、和紙
 澆返ノ次ニ「延紙」「西ノ内紙」ヲ加フ
 第五四、植物油
 揮發油ノ次ニ「菜種油粕」ヲ加フ
 第五八、味噌
 計ノ次ニ「葡萄酒」「酢」「ソース」ヲ加フ
 第六三、木製品
 木箸ノ次ニ「車輛」「唐箕」其ノ他」ヲ加フ
 第六四、竹製品
 パスケットノ次ニ「其ノ他」ヲ加フ
 第七〇、藁製品
 藁ノ次ニ「薦」「草履及草鞋」ヲ加フ

第七二、各種工產物
 鹽化加里ノ次ニ左ノ種目ヲ加フ

煉	骸	セ	化	護	亞	製					貝	機	鹽	製造月數 (年末現在)	職工平均一日使用數		數	封度	量價	額	單	價
						計	珉	鋸	其他ノ機械類	原					卸	男						
炭	炭	ト	品 (香水香油齒磨 白粉ニ限ル)	製 品	工																	

菓	凍	粉	麴	食	麩	管	蠟	洋	物間小	漁	製	萬	粗	稻	鐵
斤			貫	斤	貫		箇	着		間				箇	

銃	和	汽	機	編	衡	量	度	具房文				提	石	介	石
								計	其	鉛	筆				
砲	船	船	織	網											
	(漁船傳馬船遊樂船)	(發動汽船)	機	機	器	器	器	他	筆						
挺		艘		臺			箇		打	對	挺	箇			貫

煎餅	餡	計	製涼飲料水				漬物(自家用除外)				切干甘藷 (自家用ヲ除ク)	干瓢 (同上)	塚	履物
			製	ラ	サ	其	計	梅	奈	澤				
			水	ム	イ	ノ	干	漬	漬	漬	他	他	他	雪駄
			瓶											足筒
			貫	貫										

鼻緒	脚腫及股引	其他	計	賣藥

備考

一、表末ノ空欄ニハ其ノ地方ニ於テ本表ニ示ス種類以外ニ生産物アラハ便宜掲記スヘキモノトス但シ調査ノ單位ハ必ス記載ヲ要ス

第七五、有用土石及礦水

礦水ノ次ニ「砥石」ヲ加フ

第八〇、魚獲物
本表ハ鹹水淡水ニ區別シ左ノ種目ヲ加フ
鹹水ニ屬スルモノ魚類ノ部
鱸ノ次ニ「鯽」「魴」「鼠頭魚」「鮪」ヲ加フ
具類ノ部

其ノ他ノ項ヲ「姥貝」「其ノ他」ニ區別ス

藻類ノ部
其ノ他ノ項ヲ「搗布」「荒布」「其ノ他」ニ區別ス
淡水ニ屬スルモノ魚類ノ部

調査ノ局ニ當ラル、諸君ハ可成其ノ方法ニ依ラレ即チ事務ノ性質分量竝ニ自己ノ能率ニ稽ヘテ適宜分配シタル所ノ每週若クハ毎月ノ
功程表ヲ作り之ヲ日々執務ノ規矩トシテ事務取扱ヒ調査停滯ヲ防グ様努力セラル、コトヲ望ミマス

二、調査ノ正確ナ期スル件
學事年報ノ調査ガ正確テ無クテハナラズ事ハ、今更言フ迄モ無イ所デアリマスケレドモ、從前ニ於テハ不完全ナ計數ヲ掲載シテ報告
スル向モ尠クアリマセン、殊ニ同一府縣デアツテ毎年同様ノ誤調ヲ繰返シ居ル向ガアル様ナコトハ、甚タ遺憾トスル所デアリマス
故ニ今後本省ニ報告書ヲ提出スル際ニハ特ニ左記各項ニ就イテ精細ニ檢査チナシ、誤脱ノ無イコトヲ確認シタル上發送スル様十分注
意セラレタイノデアリマス、下級報告機關ヨリ提出シタル調査材料ヲ處理スル場合ニモ亦之ニ準ジテ檢査シタル上集計セラル、コト
が必要デアリマス

- 1、規程ニ照シテ誤脱ハ無イカ
- 2、前年度ニ比シ格別ノ理由ナキニ拘ハラズ大ナル増減ガアリ、又ハ増減ガアルベキ筈ナルニ然ラザルガ如キコトハナイカ
- 3、違算及筆誤ハナイカ
- 4、記載ノ事實又ハ計數ニ前後矛盾スルモノハナイカ
- 5、他ノ調査ニ對比シテ矛盾スル所ハナイカ
- 6、前年度ト同様ノ誤調ハナイカ

三、諸表簿整理ノ件
學事年報ハ府縣郡市町村、學校等ニ備ヘ置ク各種表簿ニ依ツテ調査スヘキ部分ガ頗ル多イカラ其ノ表簿ノ整否如何ハ、調査ノ結果ニ至
大ノ影響ヲ及ボスコトナリマス、故ニ爾今特ニ注意セラレテ年報調査ノ原材料トナルベキ諸表簿ノ整理方ニ就キ十分努力セラル、
様希望致シマス

地方學事統計事務打合
會ニ於テ口演シタル 學事年報様式ニ關スル疑義説明要領

各表 共通事項

- 一、何日現在ノ意義
各表中何日何日現在ノ數ヲ掲グ可キ旨示サレタル項ニハ其ノ日ノ最終時ノ現在數ヲ調査シテ掲グ可キモノトス例ヘバ甲號表ニノ教
員ハ年度末ノ現員ヲ掲グ可シトアルヲ以テ年度末日附チ以テ轉職休職退職ヲ命セラレタル者ハ之ヲ除キ(即チ其ノ日ノ最終時ニハ現

在セサルコト、ナルニヨリ)新任又ハ復職ヲ命セラレタル者ハ之ヲ加フ(即チ其ノ日ノ最終時ニハ現在スルニヨリ)ル如ク調査スルモ
ノトス

二、符號ヲ附シテ別記スル數ノ記載方

各表中符號ヲ附シテ別記ス可旨示サレタルモノハ其ノ數ヲ外書トス可キモノトス

三、四捨五入法ニヨル可キ單位以下ノ數

各表中様式説明ニ「單位ノ下二位ニ止メ四捨五入スヘシトアルハ小數三位迄算出シ其ノ三位ノ數ヲ四捨五入シテ二位ニ止ムル様計
算スヘシトノ意ナリ

四、朱書ノ一定

様式説明ニヨルハ朱書スヘキ場合ハ特ニ指定セララル故ニ特ニ指定セラレザルモノハ必ス墨書スルモノト解スルチ正當トス

五、二以上ノ調査事項ニ跨ル事物ノ記載方

二以上ノ調査事項ニ跨ル事物ニシテ尋常高等小學校ノ教員ノ如ク其調査方一定セルモノハ其ノ調査方法ニヨリ記載ス可キハ勿論ナ
ルモ其ノ方法ヲ特ニ明示セラレサルモノハ一方ニ掲ケ備考ニ其ノ旨ヲ説明スルチ要ス

學 齡 兒 童 表

六、様式説明第一號第二項ノ現住者ニ就テ

様式説明第一號第二項學齡兒童ハ本籍ト寄留トヲ問ハス現住者中云々ノ現住者中ニハ居所寄留者モ包含スルモノトス

七、不就學者中尋常小學校第何學年ノ者ノ意義

不就學者中猶豫又ハ免除ノ欄尋常小學校第何學年ノ者トハ其ノ學年修業中猶豫又ハ免除セラレタルモノヲ掲グ可キモノトス但第一
學年ノ課程ヲ修了シタル者ニシテ未ダ第二學年開始ニ至ササル間ニ猶豫又ハ免除セラレタルモノハ之ヲ第二學年ノ項ニ掲グ可ク他
ノ學年ニ係ルモノモ之ニ準シテ調査スルチ要ス例ヘハ三月二十五日ニ第一學年ヲ修了シタル者カ三月三十一日ニ猶豫又ハ免除セラ
レタルトキハ之ヲ第二學年ノ項ニ掲グルカ如シ

八、長期缺席者ノ調査方

小學校ニ學籍ヲ置クモ正當ノ理由ナク長期ノ欠席チナシ小學校令施行規則第九十一條乃至第九十四條ノ手續ヲ盡クスモ尙出席セサ
ルモノハ之ヲ不就學者ト見做シ様式説明第三號ニ準シ調査ス可キモノトス

九、一箇年未滿居所不明者ノ調査方

一箇年未滿居所不明者ハ居所不明トナリタル後一箇年ヲ経過セサルモノ(居所不明トナリタルコトヲ知り得タル日ヨリ起算シ)ヲ掲ク可キハ勿論ナレトモ無斷轉居ノ爲居所搜索中ニ係ル者ハ之ヲ居所不明者ト認定セテ搜索ノ途杜絶シタルトキ初メテ之ヲ居所不明者ト認定シ無斷轉居ノ事實ヲ知りタルトキニ溯リテ起算シ一箇年以上ニ達スル場合並搜索一箇年以上ニ渉ルモ尙居所ヲ知ルニ由ナキ者アル場合小學校令施行規則第八十一條第三項第三號ニヨリ學齡簿ヲ抹消スル手續ヲ採ル地方ニ在リテハ其ノ無斷轉居者ニシテ未タ一箇年ヲ経過セサル者モ之ヲ一箇年未滿居所不明者中ニ計上ス可キモノトス

一〇、盲啞學校等ニ就學シタル兒童ノ調査方

小學校令第三十三條第一項ニ該當スルモ盲啞學校其ノ他特殊ノ學校ニ入り又ハ尋常小學校ニ於テ小學校令第二十二條ニヨリ教科ノ一部ノミヲ修メツ、アルモノハ之ヲ就學者トシテ調査スルヲ要ス

一一、感化院收容兒童ノ調査方

感化院收容ノ尋常小學校未修了學齡兒童ハ之ヲ不就學者トシ就學猶豫ノ部ニ掲ク可キモノトス

各學校ニ係スル諸表ニ共通ノ事項

一二、三月三十一日限リ廢止ノ學校翌年度四月一日授業開始ノ學校、休校中ノ學校掲載方

三月三十一日限リ廢止ノ學校ハ其ノ日ノ最終時迄存在スルモノナルヲ以テ三月三十一日現在調ニハ之ヲ計上スルヲ要ス
翌年度四月一日以後新ニ授業ヲ開始スル學校モ三月三十一日以前其ノ設置ノ認可アリテ職員ノ任命アリタルモノナラハ之ヲ三月三十一日現在調中ニ計止スルヲ要ス

休校中ノ學校モ之ヲ調査スルヲ要ス

前二項ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ附シ他ノ數ト區別ス可キモノトス

一三、朝鮮人、臺灣人其ノ他新領土在來人ノ記載方

朝鮮人、臺灣人其ノ他新領土在來人ニ係ルモノハ之ヲ内地人ニ係ルモノト混同セテ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ記載ス可キモノトス

一四、教員ノ範圍及兼教者ノ記載方

教員トハ法令ニヨリ又ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ定ムレル其ノ學校ノ教科目ノ全部若クハ一部ヲ教授スルモノヲ言フ故ニ其ノ職名ノ如何ヲ問ハサレトモ學校限リ課外ニ教授スル或ル科目ヲ担任スル者ノ如キハ教員トシテ調査ス可キモノニアラス校長ハ教員ノ中ニ加フ可ラス

他ヨリ兼務ノ者トハ他ノ官公職ヨリ兼務ノ者ヲ云フ故ニ私立學校其ノ他私人ノ業務ヨリ兼ヌル者ハ兼務者トセス專任者トシテ掲載

ス可キモノトス

屬託等ニテ辭令面ハ兼務ノ形式ヲ備ヘサルモ實質兼務ノ者ハ之ヲ兼務者トシテ調査ス可キモノトス

一五、追試験ニ依ル卒業生ノ調査方

其ノ年度ノ試験ニ缺席シ次年度ニ於テ追試験ヲ受ケ卒業シタルモノハ總テ次年度ノ卒業生ニ合算報告ス可キモノトス

一六、假入學者ニ就テ

假入學者ハ調査スルヲ要セス本入學ヲ許可セラレタル人員ノミヲ調査スヘキモノトス但シ入學者年齡ハ其ノ學年開始ノ月ニ溯リテ調査スルヲ要ス又假入學者ノ退學ハ退學者ノ欄ニ掲記ヲ要セス備考ニ人員ヲ掲グコト

一七、豫科出身ノ入學志願者ニ就テ

入學志願者中豫科出身ノモノハ專門學校、實業專門學校、甲種程度ノ實業學校ニ於テモ師範學校同様計入ス可ラサルモノトス

一八、私立學校ノ缺損補填全調査方

私立學校ニ於テ文出ニ對シ收入不足シタル爲メ設立者ニ於テ其ノ不足額ヲ補填スルモ其ノ補填額ヲ收入ノ部ニ計上ス可カラス

市町村立私立小學校表

一九、始メテ第一學年ニ入學ノ意義

入學者調査上ニ於ケル始メテ第一學年ニ入學シタル者トハ入學者本人ヨリ見テ始メテ學校ノ第一學年ニ入學シタル者ノ意ナリ故ニ其ノ學校ヨリ見ルトキハ始メテ第一學年ニ入學シタル者ニテモ他ヨリ轉學シタルモノナラハ之ヲ計入ス可ラス但シ小學校令第三十六條第一項但書ニヨリ家庭其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メタリシ者カ中途第一學年ニ入學シタルトキハ之ヲ轉學ト做サス始メテ入學シタルモノトシテ調査スルヲ要ス

二〇、尋常高等小學校ノ教員ノ尋常科高等科區別方ニ就テ

尋常高等小學校教員ニシテ受持兩教科ニ渉ルモノ區別方ニ用フル教授時數ノ多少ハ一學年間ノ實際教授時數ヲ積算シタルモノニ就クニアラスシテ其ノ教員ノ担当ス可キ責任アル教授時數ノ多少ニ依ル可キモノトス

尋常高等小學校長ヲ兼ヌハ訓導ニシテ實際ニ於テ教授ヲ担任セサルモノハ之ヲ高等科ノ方ニ掲ク可キモノトス

二一、日々出席及缺席ノ平均數算出ニ用フル教授日數ノ意義

日々出席及缺席平均數算出ニ用フル教授日數ハ小學校令第十九條及第二十條ニ依ル教科目ヲ教授シタル日ノ總數ト解ス可キモノトス又此ノ教授日數ハ其ノ學校ノ教授日數ナルニヨリ學年學級、兒童等ニヨリ教授日數ヲ異ニスルモ之ヲ區別シテ計算スルヲ要セス

師範學校、中學校、高等女學校、專門學校、各實業學校表共通事項

二二、募集人員ノ調査方
募集人員ハ募集ノ當時其ノ數確定セス若干名等トシテ廣告スル場合アリ斯ル場合ニハ發表當時ノ狀況ニ依テ確定シタル時ノ數ニヨリ何人ト記載ス可キモノトス

二三、臨時入學者ノ調査方
臨時入學者ハ左ノ通り調査スルモノトス
(イ) 募集人員中ニハ補缺募集ニ係ルモノハ「補缺」ノ二字ヲ冠シ區別シテ記載シ其ノ他ノ臨時入學者ニ係ルモノハ之ヲ記載セザルコト

(ハ)(ロ) 入學志願者モ同上
入學者欄ニハ總テノ臨時入學者ヲ計上スルコト但シ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ記載スルコト尙入學者年齡ハ總テノ臨時入學者ヲ除キ計算スルコト

二四、入學許可シタル月ノ意義
入學者ノ年齡ハ入學許可シタル月ニ於ケル年齡ニヨリ計算スル規定ニシテ其ノ入學許可シタル月トハ入學許可ノ通知ヲ發シタル月ニアラスシテ實際ノ入學ノ月ヲ指スモノトス例ヘハ四月ニ入學セシムル爲三月中ニ入學許可ノ手續ヲナスモ三月ニ於ケル年齡ニ依テ四月ニ於ケル年齡ニ依リ調査スルガ如シ入學者年齡ハ月ニ於ケル年齡ナルニ依リ月ヲ以テ計算スレハ十二年一日ノモノモ之ヲ十二年一ヶ月トナスカ如ク調査スヘキモノトス

二五、其ノ學年ヲ修了ル後上ノ學年ノ開始セサル前ニ退學シタル者ノ記載方
其ノ學年ヲ修了シ上ノ學年ノ開始セサル以前ニ退學シタルモノハ之ヲ上ノ學年ノ欄ニ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲グ可キモノトス例ヘハ三月二十五日ニ中學校ノ第二學年修了ノ證書ヲ受ケタルモノカ三月二十八日ニ退學シタル場合ニハ之レヲ第三學年ノ欄ニ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲グタル如クナスモノトス

二六、休學試驗延期者ノ學年成績調査方
休學及試驗延期者ハ學年成績欄落第ノ部ニ於テ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲記スルヲ妥當トス
實業補習學校表

二七、二科以上兼修生徒ノ記載方
實業補習學校生徒中一人ニシテ二科以上ヲ兼修スルモノアルトキハ延人員ヲ掲ケス實人員ヲ掲グ可キモノトス
各種學校表

二八、感化法ニヨリ設立シタル感化院
感化法ニヨリ設立シタル感化院ハ假令學校ノ名稱ヲ附スルモ甲號表十七ニ該當スル各種學校ニアラサルハ勿論他ノ表ニ記載ス可キ學校ニアラス
公立私立圖書館表

二九、巡回文庫ノ位置記載方
巡回文庫ノ如ク一定ノ場所ニ閱覽室ヲ有セサルモノハ主タル事務所ノ所在地ヲ位置ノ欄ニ掲グ可キモノトス
三〇、和漢書洋書ノ區別
和漢書洋書ノ區別ハ大體左ノ標準ニ依ル可キモノトス

一、主トシテ和漢文ニテ認メタル書籍ヘ其ノ出版所ノ内外國タルヲ問ハス和漢書トスルコト
一、主トシテ歐文ニテ認メタル書籍ハ其ノ出版所ノ内外國タルヲ問ハス洋書トスルコト
一、歐語和漢譯和漢語歐譯ノ辭書ハ洋書トスルコト

一、和漢文以外ニテ認メタル書籍並寫真圖畫等ハ各適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ記載スルコト
三一、閱覽人員ノ調査方
閱覽人員ハ様式説明第四項ニ「開館中ノ來館閱覽人員ヲ掲グヘシ」トアルニヨリ來館セサル閱覽人員即チ館外貸出ノ人員ハ之ヲ計入ス可ラス又巡回文庫ノ閱覽人員ハ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ記載ス可キモノトス

市町村立小學校教員住宅表
三二、住宅施設ノモノ、欄各項ノ調査方
住宅施設ノモノ、欄市町村數ハ住宅ヲ建設シアル市町村ナラハ年度末ニ於テ之ニ居住スル教員ナキ場合ト雖モ其ノ市町村數ヲ計上ス可キモノトス又住宅戶數ハ一人ノ教員並其ノ家族ヲ居住セシム可キ設備ヲ以テ一月トシ年度末ニ於テ現住スル教員ノ有無ニ拘ハラス其ノ戶數ヲ掲グ住宅居住ノ教員數ハ年度末ニ於テ現ニ住居スル教員ノ數ヲ掲グ可キモノトス但シ教員住宅トシテ建設シタル建物ニアラサルモ市町村ニ於テ所有スル建物ニ教員ヲ居住セシムル向ハ住宅施設ノモノトシテ調査ス可キモノトス然レトモ其ノ建物カ他ニ主タル用途ヲ具フルモノ及一時假リニ居住セシムルモノハ此ノ限リニアラス

三三、住宅料支給ノモノ、欄各項ノ調査方

住宅料支給ノモノ、欄市町村數ハ之カ支給チナス市町村ナラハ年度末ニ於テ教員缺員ノ場合ト雖モ其ノ市町村數ヲ計上シ教員數ハ年度末ニ於テ之ヲ受ケツ、アノモノ、現員ヲ掲ク可キモノトス

三四、住宅賃借料支給ノモノ、欄各項ノ調査方

住宅賃借料支給ノモノ、欄市町村數ハ之カ支給チナス市町村數及教員ニ住宅ヲ供スル爲家屋ヲ借受ケ之ニ賃借料支拂フ市町村數ヲ合算シテ掲ケ(年度末ニ於テ教員欠員ノ場合之ヲ計上スルヲ要ス)教員數ハ年度末ニ於テ賃借料ノ支給ヲ受ケツ、アル教員並市町村ニ於テ賃借シタル住宅ニ居住シツ、アル教員ノ現員ヲ合算シテ掲ク可キモノトス

三五、一市町村ニシテ住宅施設ノモノ、住宅料支給ノモノ、住宅賃借料支給ノモノ、中二欄以上ニ該當スルモノ、調査方

標記ノ場合ハ各欄毎ニ調査スルモノトス(市町村數ハ重複ス)

三六、市町村ニ於テ民間又ハ他ノ團體等ヨリ無償ニテ借受ケタル家屋ヲ教員住宅ニ供シタル場合ノ調査方

此ノ場合ニ於テハ住宅施設ノモノ、欄ニ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲ク可キモノトス

三七、設置區域外ヨリ通學スル兒童ノミ授業料ヲ徴收スル學校ノ調査方

標記學校ハ之ヲ授業料ヲ徴收スル學校ニ加ヘサルモノトス

三八、明治三十九年二月勅令第五號ニヨリ授業料減額又ハ不徴收ノ兒童(即戰地勤務ニ因ル)並學事獎勵ノ爲授業料ヲ減額シ又ハ徴收セサル兒童ノ掲載方

標記ノ兒童ハ便宜授業料減額ノ者ノ欄又ハ授業料全部免除ノ欄ニ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲載スヘキモノトス

三九、明治四十四年廣島縣照會ニ對スル回答ノ同種學校ノ意義並在職年數ノ通算方

標記同種學校ハ様式各欄ノ區別ニヨリ分類スルモノトス又正教員ノ在職年數ハ左記ニ依リ計算スルモノトス校長亦之ニ準ス

一、市町村立小學校 市町村立小學校正教員ノミノ在職年數ニヨリ計算スルモノトス

一、公立實業補習學校 公立實業補習學校正教員ノミノ在職年數ヲ計算スルモノトス

一、師範學校 高等師範學校、女子高等師範學校ノ教員並師範學校、女子師範學校ノ教諭助教諭指導ノ在職年數ヲ通シテ計算スルモノトス

一、公立中學校 陸軍、地方及中央幼年學校ノ文官教官高等師範學校ノ教諭助教諭、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府、樺太廳統監府所管中學校ノ教官ハ各公立中學校ノ正教員ト其ノ在職年數ヲ通シテ計算スルモノトス

一、公立高等女學校 女子高等師範學校ノ教諭助教諭、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府(廳)樺太廳、統監府所管高等女學校ノ教官ハ各公立高等女學校ノ正教員ト同上

一、公立專門學校 官立ノ學校ニシテ中學校高等女學校卒業程度ヲ以テ入學資格トシ修業年限三年以上ナル學校ノ教官ハ公立專門學校ノ正教員ト同上但實業專門ニ屬スルモノヲ除ク

一、公立實業專門學校 官立ノ學校ニシテ中學校、高等女學校卒業程度ヲ以テ入學資格トシ修業年限三年以上ニシテ工業、農業、蠶業、山林、獸醫、水産、商船等ニ關スル教育ヲナス學校ノ教官ハ公立實業專門學校ノ正教員ト同上

一、公立甲種程度實業學校 公立甲種程度農業學校、同商業學校、同商船學校、工業學校、本科程度水産學校(大正五年十月文部省令第二十一號改正甲種水産學校トナル)ノ正教員並朝鮮總督府所管實業專習學校ニシテ甲種程度實業學校ト修業年限並學科程度同一ナル學校ノ教官ト同上

一、公立乙種程度實業學校 公立乙種程度農學校、同商業學校、同商船學校、徒弟學校、別科程度水産學校(大正五年改正乙種トナル)並朝鮮總督府所管實業專修學校ニシテ乙種程度實業學校ト修業年限並學科程度同一ナル學校ノ教官ト同上

一、其他ノ公立學校 上記以外ノ公立學校ハ其ノ教科目程度、修業年限等相シキモノハ各官公立學校ヲ通シテ在職年數ノ計算ニシテ然ラサルモノハ其ノ校限リノ在職年數ニヨル

一、學校長ト正教員トハ相互通算セス學務官吏學校書記等恩給又ハ退職料等ノ場合ニ通算シ得ル學校長又ハ正教員以外ノ在職年數モ之ヲ通算モス

四〇、備考欄ニ記載ヲ要スル市町村立小學校本科正教員ノ勤続年數計算方ニ就テ

表記勤続年數ニハ市町村立小學校教員加俸令第四條ニ該當スル場合モ通算スルモノトス

公立學校醫表

四一、小學校ノ分教場計算方

様式説明第一項但書ノ分教場中ニハ小學校ノ分教場ハ包含セサルモノトス故ニ分教場ニ係ルモノハ本校ニ合シ計算スルヲ要ス

四二、師範學校附屬小學校ニ關スル調査ニ就テ

師範學校ノ本校ト附屬小學校トヲ擔任スル學校醫ハ二校ヲ擔任スルモノトセス一校ヲ擔任スルモノトシテ計算ス可キモノトス

四三、特別會計及繼續費ニ係ルモノ、記載方
特別會計ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ附シ一般會計ニ係ルモノト區別シテ之ヲ掲ケ繼續費ニ係ルモノハ其ノ年度ニ支出シタル額ヲ掲
ク可キモノトス

府縣ヨリ郡市町村郡ヨリ町村等ニ特別會計ニ屬スル金額ヲ以テ補助シタルモノハ郡市町村ノ收入モ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ記載
ス可キモノトス

四四、學務委員ニ關スル經費

學務委員ニ關スル經費ハ教員費以外ノ款ニヨリ整理スル場合ト雖モ之ヲ公學費トシテ調査ス可キモノトス

四五、感化法ニ依ル經費

感化法ニ依ル經費ハ假令感化院力學校又ハ塾ナル名稱ヲ用フルモ之ヲ公學費トス可キモノニアラス

四六、附屬ト附設ト別

様式説明第二號學校、幼稚園、圖書館等ニシテ他ノ學校ノ附屬ニ係ルモノハ云々ノ附屬中ニハ附設ニ係ルモノヲ含マサルモノトス

四七、生徒給貸費ノ範圍

生徒中ニハ小學校兒童ヲ含ムモノトス

貧困兒童ニ學用品(圖書文具等)ヲ給シタル場合ニハ之ニ關スル經費ハ生徒給貸費ナリトス

祝祭日ニ茶菓ヲ供シ又ハ學年末等ニ於テ優等生若ハ無欠席者ニ賞品ヲ與ヘタル經費ハ生徒給貸費ニアラス

生徒ニ貸與スル目的ニテ設備シタル器具、器械、圖書等ノ費用ハ生徒給貸費ト見ル可キモノニアラス

四八、器械器具ノ區別並船舶購入費ノ記載方

本表ノ器械トハ圖書又ハ標本ニ準シ生徒教授ニ用ユルモノヲ云ヒ器具トハ其ノ以外ノ用具ノ總テヲ云フ即チ物理化學ノ實驗並農業
工業、漁撈、航海手藝、音樂等ニ關スル學術技藝ヲ修習セシムル爲ニ用ユルモノハ之ヲ器械トシ機、腰掛、黑板其他事務用具等ハ
之ヲ器具トスルモノトス

航海學校又ハ水産學校等ニ於テ船舶ヲ建造シ又ハ購入シタルトキハ之ヲ器具費ノ部ニ特別ノ符號ヲ附シ區別シテ掲載ス可キモノト
ス

本解釋ハ丙號表ニ公學資産表ニモ共通スルモノトス

四九、實習地並學校基本財産トスル土地建物購入費ノ所屬

實習地購入費ハ之ヲ新營費ニ計上ス可キモノトス學校基本財産トスル土地建物ノ購入費亦然リ

五〇、二種以上ノ實業學校ノ學科ヲ一校内ニ併置シタル學校ノ經費記載方

明治三十七年三月文部省令第七號ニヨリ二種以上ノ實業學校ノ學科ヲ一校内ニ併置シタル場合ニ於テ一方カ甲種一方カ乙種ニシテ
其ノ收支分割シ難キトキハ甲種ノ方ニ掲ク可キモノトス

五一、公立學校職員俸給令ニ依ル加俸ノ記載方

公立學校職員俸給令第六條ニ依ル加俸ハ各相當俸給欄ニ加算シテ掲ク可キモノトス

同令第七條ニ依ル舍監俸給ハ舍監俸給ノ欄ニ主事加俸ハ教諭助教諭訓導俸給欄ニ各適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲ク可キモノトス

五二、休職給ノ記載方

休職給ハ其職相當ノ俸給欄ニ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲ク可キモノトス

五三、手當ノ記載方

小學校令施行規則第五十九條ニヨル手當及兼務手當ノ如ク俸給ノ性質ヲ帶フルモノハ雜給ノ欄ニ計上シ其ノ他ノ手當又ハ慰勞金
ノ類ハ之ヲ其ノ他ノ諸費ノ欄ニ掲ク可キモノトス(小學校教員ヨリ補習學校教員若クハ實業學校長ヲ兼ヌルモノニ對スル月手當等ハ
前段ニ含ム)

公 學 資 産 表

五四、公學資産ノ範圍

本表ハ公學ノ爲ニスル資産ニシテ縣郡市町村ノ各所有權ヲ有スルモノニ限リ調査ス可キモノトス故ニ縣有ノ土地ヲ無償ニテ市町村
カ借受ケ之ニ小學校ヲ建設シタル如キ場合ニ於テモ其ノ地ヲ公學資産トシテ計上ス可ラス

五五、土地ノ敷地附屬地區別方

敷地トハ校舍ヲ建設セル土地ノ一區劃内ヲ言ヒ附屬地トハ其ノ區劃外ノ土地ヲ言フ故ニ校舍ト一區劃内ニアル運動場實習地教員住
宅敷地等ハ之ヲ敷地ノ部ニ計上ス可キモノトス

五六、土地ノ坪數調査方

土地坪數ハ土地臺帳ノ面積ニ依ル可キモノナルモ實測シタルモノアルトキハ實測ノ方ニ依ル可キモノトス

五七、建物ノ教場其ノ他ノ區別方

土地坪數ハ土地臺帳ノ面積ニ依ル可キモノナルモ實測シタルモノアルトキハ實測ノ方ニ依ル可キモノトス

教場ハ教室ヲ指ス

講堂、屋内体操場、擊劍、柔道ノ道場ノ如キモノハ教室ニアラス
教室ノ坪數ハ室内ノ坪數ニヨリ調査ス可キモノトス
教場以外ノ建物ハ總テ之ヲ附屬建物トス

五八、學校基本財産及積立金ノ調査ニ就キテ

基本財産及積立金ハ市町村制並地方學事通則改正ノ結果市町村有ニ係ルモノハ地方學事通則附則第四項並市制第九條第二項町村制第八十九條第二項ニ依リ設ケタルモノヘテ掲ケ府縣郡有ニ係ルモノハ地方學事通則第九號ニ依リ設ケタルモノヲ掲ケ可キモノトス
五九、積立金ノ範圍

積立金ハ單ニ現金ノミニ限ラス穀物、建築材料、有價證券等ヲ積立タル場合ニモ之ヲ時價ニ計算シテ掲載ス可キモノトス
六〇、立木ヲ基本財産トナシタルトキノ記載方

他人ノ土地ニ木竹ヲ植付ル之ヲ基本財産トナシタル場合ニハ其ノ立木竹ノ價額ヲ時價ニ見積リ森林ノ價額欄ニ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ記載ス可キモノトス但部分林ハ分收部合ニヨリ持分ヲ計算シテ掲載ス可キモノトス

六一、府縣郡市町村納金ノ調査方

其ノ年度ニ屬スル納金ヲ次月度ニ於テ納入スルコトアルモ所屬年度ニ從ヒ調査ス可キモノトス例ヘハ其ノ年度ニ屬スル下半年期分ヲ翌年度四月十日ニ納入スルモ之ヲ翌年度ノ方ニ計上セス其ノ年度ノ方ニ計上スル如ク調査スルモノトス
六二、職員納金ノ調査方

職員納金モ前項ニ準シ其ノ年度ニ屬スル三月分ヲ翌年度四月十日ニ納入スルモ之ヲ翌年度ノ方ニ掲ケス其ノ年度ノ方ニ掲ケ可キモノトス

六三、退職給與金ノ調査方

退職給與金ハ退職ノ日ノ屬スル年度ヨリ調査ス可キモノトス但支拂方其ノ年度ノ出納閉鎖後ナルトキハ此ノ限りニアラス

地方學事統計事務
打合せニ於ケル 學事年報様式ニ關スル質疑應答要領

一、年度末日限廢校トナリタル學校ノ調査方何如教員前同斷

(大阪府)

年度末日限リ廢校トナリタル學校ハ其ノ日ノ最終時迄存在スルモノナルニ依リ年度未現在トシテ調査スヘキモノトス從テ其ノ校ノ教員モ之ヲ年度未現員トシテ調査スルヲ要ス

二、年度末ニ偶生徒ナキ學校ハ除外シ可然ヤ

年度末ニ偶生徒ナキモ年度内ニ於テ入學退學卒業等アリシ學校ハ之ヲ調査スルヲ要ス

三、取調條項中入學者父兄ノ職業別ハ定期入學ト臨時入學トヲ問ハス入學者全部ニ就キ掲ケ可キモノナリヤ又入學年別ニ調査スル要アリヤ福井縣實見ノ通り

四、取調條項中入學父兄職業別ハ甲學校ニ入學シタル者カ乙學校ニ轉學シタルトキ之ヲ甲乙兩校ニテ調査スレハ自然重複トナルモ別ニ

差支ナキヤ
(鳥取縣)

五、取調條項ニ記述スヘキ事項ノ精粗程度ヲ示サレタシ

其ノ府縣ノ學事ノ狀況ヲ知悉スルニ足ル程度ニ於テ認メラレタシ

六、取調條項入學者父兄ノ職業別ハ如何ナル種目ニ區別スヘキヤ

職業別大分類又ハ中類ニ依ルコト
(富山縣)

七、市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金ノ支途ヲ區別スル方法如何

市町村ニ於テ豫算ヲ編製スル際ニハ交付金ノ支途ニ付相當考慮スヘキ答トス故ニ市町村ノ當局者ニ就テハ支途ニ依リ區別シタル金額判明スヘシ
(茨城縣)

八、就學兒童一ケ年間一日モ出席セサル者ハ學齡兒童表中尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ノ欄ニ如何ニ計上スヘキヤ

本問ノ如キ兒童アラハ之ヲ不就學者トシ甲號表一様式說明第三項ニ準シ掲記スヘキモノトス
(大阪府)

九、學齡兒童滿六才一日ノ年齡ニ達シタルモ猶豫モ出願セズ就學モセサル兒童ハ學齡兒童表ヘ如何ニ記入スヘキ

小學校令並小學校令施行規則ノ上ヨリ之ヲ觀レハ本問ノ如キ就學始期既達ノ學齡兒童ハ無之答ナリ
(大阪府)

一〇、學齡兒童中居所不明一ケ年末滿者ノ學籍處分ニ關スル疑義

一ケ年末滿居所不明ノ學齡兒童ハ學齡簿ヲ抹消スルヲ得ス學籍モ之ヲ處分スルヲ得ス
(秋田縣)

一、學齡兒童表中一箇年末滿居所不明者ノ調査ニ關シ各府縣ノ調査員法承知シタシ

(山形縣)

(出席者中之ニ對シテ別段陳述シタル者ナシ)

二、尋常高等小學校ノ訓導ニシテ校長ヲ兼ヌル者ノ中ニハ別段教授ヲナサザルモノアリ是ハ高等科ノ教員トシテ掲ク可キヤ

貴見ノ通り

(福井縣)

三、師範學校規程第四十四條第一項ニ「一學級ノ生徒ハ凡ソ四十人以下トス」トアル此ノ主旨如何例ハ四十人以上ヲ以テ編制スルモ
差支ナキ義ナリヤ

(大阪府)

本件ハ所管以外ニ屬スル質問ナレトモ凡ソ四十人以下トスノ意ハ小シク四十人ヲ超過スル場合モ含ムモノト解スルコトヲ得

(大阪府)

四、師範學校ニテ助手トシテ採用シタル者ノ人員ヲ備考ニ掲載スル必要ナキヤ

(富山縣)

別ニ必要モナケレトモ地方廳ニテ之ヲ記載スルヲ要スト認メタルトキハ記載セラレタシ

(富山縣)

五、甲號表四以下各表囑託教員中手當ノ最モ少額ナルモノ若クハ手當皆無ノモノハ(辭令面ハ兼務ニアラサルモ其ノ實兼務タル爲メ)
一般教員ト區別シテ符號等ヲ附シテ記入セシムルモノニ無之ヤ

(福井縣)

實際兼務タルヲ認メラル、モノハ手當ノ多少ニ拘ハラズ之ヲ兼務トシテ調査スルヲ要ス

(福井縣)

一七、甲號表四乃至九各表中入學者ニハ臨時入學ニ係ルモノモ計入スヘキヤ

(大阪府)

一八、高等女學校入學志願者ニシテ本科ニ志願シタル者都合ニ依リ實科ニ入學許可セラレタルトキハ此ノ志願者ハ本科實科共ニ計上ス
可キヤ

(福井縣)

然リ

(福井縣)

一九、實業補習學校各種學校入學者ヲ第一學年ニ限リタル旨意如何

(福井縣)

第二學年以上ノ入學者ヲ調査スル要ナシト認メタルニ由ル

(福井縣)

二〇、甲號表五及八ノ卒業者數及卒業者年齡ヲ調査ニハ學年中途ニ於テ卒業シタル者ヲ除外ス可キヤ

(鳥取縣)

除外ス可ラス但シ大正七年度ニ卒業スヘキモノカ病氣等ニヨリ試験ニ欠席シ大正八年度ニ入り追試験ヲ受ケ卒業シタルトキハ之ヲ
大正八年度ノ卒業者トスル如ク調査スルヲ要ス又其ノ者ノ年齡ハ卒業證書ヲ授與シタル月ニ於ケル年齡ニ依リ計算スルヲ要ス

(鳥取縣)

二一、公立私立實業補習學校表中修了者ノ欄ニハ例ヘハ三ヶ年程度ノ補習學校トセハ第一學年、第二學年ノ各修了者ヲ調査スルニアラ
スシテ第三學年全ク修了セシ者即チ明治三十四年二月文部省訓令第一號表様式ニアリシ如ク卒業者ト謂フ意味ヲ以テ調査シ可然ヤ

(鳥取縣)

貴見ノ通り

(鳥取縣)

二二、甲號表五中第一學年修業後年度内ニ退學セシモノハ仮之ヘ第二學年ニ進級シタルモノト雖之ヲ第一學年退學者トシテ調査スヘキ
ヤ

(富山縣)

第二學年ノ退學者トナシ適宜ノ符號ヲ附シ區別シテ掲載セラレタシ

(富山縣)

二三、乙號表一高等小學校ニ於テ男女修業年限ヲ異ニスルモノヲ記入スルニハ修業年限ヲ異ニセサル學校兒童ノ數ニ合記スヘキヤ又符
號ヲ附シ區別スヘキヤ

(富山縣)

本問ハ修業年限ニ依リ相當欄ニ適宜符號ヲ附シ區別シテ掲ケラレタシ

(富山縣)

尋常高等小學校關ニ掲ケル外尋常小學校關ニモ朱書掲載ヲ要ス但高等科ニ兒童ナキ旨備考ニ記載セラレタシ

(奈良縣)

二五、年度内師範學校卒業生初任者ヲ學事年報ニ記載方ノ件

(富山縣)

本件ハ年度内ノ師範學校卒業生小學校教員ニ任用セルタル者ハ年度内ニ於テ教授ニ從事セサルモノナルニ依リ之ヲ年度末現在
教員ノ中ニ掲ケサル方至當ナラスヤトノ質問ナレトモ現行學事年報調査方法ニ於テハ之ヲ除外シテ調査スルヲ得サルモノトス

(富山縣)

二六、乙號表五ノ管内市町村總數ニハ町村組合トシテ記入スヘキヤ町又ハ村トシテ記入スヘキヤ若シ前項ヲ町村組合トシテ記入スヘキ
モノトセハ町及村ノ組合ハ町村何レニ記入スヘキヤ

(大阪府)

町又ハ村トシテ調査記入スヘキモノトス

(大阪府)

二七、小學校ニ於テ設置區域外ヨリ通學スル兒童ニ限リ授業料ヲ徵收シ其ノ額規程ノ制限内ナルトキハ乙號表六ニ於テ之ヲ定額ヲ納ム
ルモノ、欄ニ記入シ差支ナキヤ

(大阪府)

設置區域外ヨリ通學スル者ノミ授業料ヲ徵收スル學校ニ係ル分ハ本表ニ掲記スルヲ要セス

- 二八、公學費表中ノ臨時費ハ町村豫算編制ノ如何ニ拘ハラズ其ノ性質ニ依リ調査シ可然ヤ (鳥取縣)
- 町村ノ豫算ニ從ヒ調査スルモノトス
- 二九、丙號表一器械ト器具トノ區別ヲ指示セラレタシ (福岡縣)
- 器械トハ圖書及標本ノ如ク教授上ニ使用スルモノヲ言ヒ器具トハ其ノ他ノモノヲ言フ
- 三〇、正科以外ノ受持教員例ハ武術水泳ノ教師及囑託教師ノ給料ハ丙號表一中何項ニ掲クヘキヤ (埼玉縣)
- 法令ニ基キ定メラレタル學校ノ教科以外ノモノヲ教授スル教師ノ給料ハ之ヲ雜給ニ掲ク可キモノトス
- 三一、惠與金ハ丙號表一中何項ニ屬セシムヘキカ (埼玉縣)
- 其他ノ諸費トス
- 三二、生徒ニ筆紙墨文具ノ現品ヲ給シタルトキハ丙號表一ニ於テ生徒徒給費ニ調査可然ヤ (鳥取縣)
- 學資金ト同性質ノモノナラハ生徒徒給費トスヘク賞與等ナラハ其ノ他ノ諸費トス
- 三三、教員ノ年末賞與、慰勞金、宿直賄料ハ丙號表一ニ於テ雜給ニ調査シ可然ヤ (鳥取縣)
- 其他ノ諸費トシテ調査スヘキモノトス
- 三四、教員講習會出席手當教育會出席手當修學旅行旅費補助學事視察旅費補助ハ丙號表一ニ於テ旅費ニ調査シ可然ヤ (鳥取縣)
- 性質上旅費ナラハ之ヲ旅費トシテ掲クヘク然ラサレハ其他ノ諸費トシテ調査スルヲ要ス
- 三五、通信運搬費生徒學年末賞與、式日費、運動會費、電燈費、父兄會接待費ハ丙號表一ニ於テ其ノ他ノ諸費ニ調査可然ヤ (鳥取縣)
- 然リ但シ電燈費ハ消耗品費ナル可シ
- 三六、丙號表一教育公債償還額及利子ハ公學費表ニ計入スヘカラサル旨豫テ回答アリ其ノ利子ノ支出計入セサル理由如何 (富山縣)
- 本問利子ハ一般財政上ノ關係ヨリ生スル支出ナリト認メタルニ由ル
- 三七、丙號表一ニ學校積立金計入スルトキハ新營費ト重複スルモ差支ナキヤ (富山縣)
- 差支ナシ
- 三八、學校積立金ノ利子ハ收入ノ部ニ掲記ヲ要セサルヤ (富山縣)

積立金ノ利子ハ收入ノ部ニ掲グルヲ要セス

三九、公學資産ノ時價ノ調査標準ヲ示サレタタシ (福岡縣)

公學資産ノ時價ヲ調査スル其法如何 (埼玉縣)

時價ハ時ト場所トニ從ヒ相違アルモノナルニ付調査ノ標準又ハ方法ヲ示スコト困難ナリ然レトモ政府ノ事業ニ屬スル作業會計ノ資本計算ノ方法ノ如キ參考トスルニ足ル

四〇、縣立農學校有ノ牛及豚ノ如キハ公學資産中何レノ部ニ調査掲記スヘキカ (鳥取縣)

◎官發第十三號

大正四年一月十五日

各 郡 市 長宛

災害ニ關スル件通牒

大正三年災害報告ノ儀ハ大正二年十二月本縣訓令甲第四十一號ニ依リ本年二月末日限りニ有之候條該期限ヲ愆ラサル様致度尙之レカ調査ニ關シテハ左記事項御注意ノ上爾今該事項ニ關シ照會應答ノ手數ヲ要セサル様篤ク御留意置相成度

記

一、田、畑、及田畑以外ノ土地中其ノ他ノ浸水トアル員數欄ハ「流夫、埋没シテ復舊シ得サルモノ又ハ年期荒トアル」以外ノ被害地ト

土地ニ何等ノ損害ナキモノトヲ掲グルモノニ付損失價額ハ計上セサルコト

二、田畑以外ノ土地ニハ宅地、山林、原野、道路、畦畔、海岸等(河湖沼面ヲ除ク)一切ヲ掲グルモノナルコト

三、汎濫面積ハ田、畑及田畑以外ノ被害面積ノ合計シタルモノト必ラス一致スルコト

◎官發第十二號

大正四年一月十八日

東茨城、那珂、久慈、多賀各郡長宛

港出入船舶表外二件ニ關スル通牒

大正三年分港出入船舶表、港灣狀況報告及港輪出入貨物表報告ノ儀ハ大正二年十二月本縣訓令甲第四十一號ニ依リ本年二月末日限りニ

有之候條該期限ヲ想ラサル様御留意相成度尙之レカ調査ニ關シテハ左記事項御注意ノ上其ノ疑アルモノハ篤ト調査ヲ送ケラレタル上御報告相成様致度

記

港出入船舶表

- 一、報告ニ係ル出入商船ノ隻數及噸數カ事實ト著シク懸隔セルノ疑アルコト
- 二、商船ノ出入噸數ト貨物ノ輸出入量ト甚シク懸隔セルモノアルコト
- 三、石數帆船噸數船トノ區別分明ナラサルノ疑アルコト
- 四、漁船避難船ノ出入ヲ除外セルノ疑アルコト
- 五、調査ヲ要セサル五十五石、五噸未満及二十噸未満ノ船舶ヲ掲上セル疑アルコト

港灣狀況報告表

- 一、掲載事實ノ簡略ニ失スル嫌アルヲ以テ努メテ詳細ニ記述スルコト
- 二、其他事項關ニハ貨物集散ノ區域及港ノ消長ニ關スル重要ナル事項ヲ記述スルコト
- 三、前年ハ同一ナル事項ト雖モ例年掲載シテ報告スヘキコト

港輸出入貨物表

- 一、貨物ノ數量ト價額トヲ對比スルニ甚シク時價ト懸隔セルモノアルコト
- 二、數量及價額カ累年著シク増減アルニ拘ラス何等ノ説明ヲ附記セサルモノアルコト
- 三、港全體ノ調査ヲ送ケス一部ノ輸出ヲ報告セル疑アルコト
- 四、縣外ノ港灣ニ輸出入スル貨物ノミヲ報告シテ縣内港灣相互間ノ輸出入貨物ヲ除外セルモノアルコト

◎文發第二一七號

大正十一年十二月十五日

水戸市 長宛

人口靜態統計ニ關スル件依命通牒

調査上必要有之候ニ付左記様式ニヨリ戸口大字別調大正十一年末現在ノ分ヨリ毎年大正十一年十二月茨城縣訓令甲第三十七號ヨル人口

知事官房文書課長

統計材料統計表ト共ニ御報告有之度

戸口大字別調

水戸市

大正

年十月一日現在

大字	本籍人口		現住人口		現住戸數
	男	女	男	女	
上 市					
下 市					
常 磐					
細 谷					
吉 田					
濱 田					
總 計					

一、本表調査方法ハ大正十一年十二月茨城縣訓令甲第三十七號人口統計材料統計表様式備考ニ就テ定ムル所ヲ準用ス

◎文發第二一九號

大正十一年十二月二十日

各 郡 市 長宛

人口動態調査票ニ關スル件

知事官房文書課長

今般人口動態調査令公布セラレ大正十二年一月一日ヨリ之レカ實施ニ付客月二十五日文第一、一六五號御送付致シ候人口動態調査關係法規ニテ人口動態調査票取扱方ニ就テハ詳細ヲ盡シアル儀ニ候ヘ共動態令公布以前往々期限經過又ハ各票中不備ノ瑕疵カラサル爲照會應答ノ手數ヲ費シ候ノミナラス材料ノ正確ヲ缺クノ虞モ有之候ニ付郡市役所、町村役場ニ於テ一層注意ヲ要スル廉尙人口動態調査令同施行細則及人口動態調査票送致目錄作成心得ノ改正趣旨別紙差進候間各町村役場ヘ御示達相成度

人口動態調査票ニ關スル注意

人口動態調査票及送致目録取扱ニ付注意

- 一、動態票ノ括リ方、一郡内ノ各票種ヲ通シテ各票種毎ニ一括トナスモノアリ調査上差支カササルニ依リ右ハ人口動態調査令施行細則第十一條ノ規定ニヨリ一町村ノ各票種ヲ各一括トシ更ニ之ヲ總括シテ町村括トナシ又其ノ一郡内ノ町村括ヲ更ニ一括シテ郡括トナスモノナリ
 - 一、市町村送致目録ヘ市町村長認印、市役所町村役場ニ於テ記入ノ上ハ市役所、町村役場名ノ下ニ之レ迄ハ主任者捺印セシニ人口動態調査令施行細則第七條第二項ノ規定ニアル如ク市町村長ノ官職印ヲ捺印チナスヘキニ付注意ヲ要ス
 - 一、町村送致目録ノ取纏、各郡ヨリ進達スルモノ、中往々町村送致目録ヲ票括中ニ混入シ來ルモノアリ右ハ人口動態調査令施行細則第十一條ノ規定ニアルカ如ク一郡内ノ町村送致目録ハ別ニ之ヲ一括トスヘシ
 - 一、郡送致目録ノ記載、郡送致目録ノ備考ニ必要ナル記載ヲ洩ラササル様尙郡名ノ下ニハ從來ノ通郡主任者ノ捺印チナスヘキニ付注意スヘシ
 - 一、進達期限、之レ迄往々定メラレタル期限ヲ遅延スルモノアリ其ノ筋ヘ進達上差支居リシ所大正十二年一月ヨリハ毎月動態票並送致目録進達スルコトニ改正セラレタルニヨリ該期限ヲ毎月遅延セサル様注意スヘシ
 - 一、各種票ニ記入スル數字、壹、貳、參、拾ノ數字之レ迄往々記入アリ整理上差支カササルニヨリ爾今一、二、三、十ノ數字ヲ記入スル様注意ヲ要ス
- 人口動態調査票取扱及記入方ニ付注意
- 一、動態調査票作成心得、動態調査票取扱及記入ニ就テハ統計局指定ノ人口動態調査關係法規ヲ熟讀スヘシ
 - 一、動態調査票ノ帶紙、動態調査票ノ帶紙ハ延又ハ西ノ内ノ白紙ヲ堅ニ幅一寸位ニ切リタルモノヲ以テスヘシ
 - 一、非本籍人、本籍ナキ者(朝鮮、臺灣、樺太若ハ南洋群島等ノ殖民地及外國ニ本籍ヲ有スル者ヲモ含ム)及本籍分明ナラサル者ノ婚姻、離婚、出生、死亡モ人口動態調査令施行細則第六條第一號ノ規定ニアルカ如ク届出地ノ市町村長之ヲ作成提出ヲ爲スヘキモノニ付注意スヘシ
 - 一、職業ノ記入、職業ハ商又ハ工等ノ如ク其ノ意味ノ廣キモノハ職業別調査上支障カササルニ付何々商、何々工ト細密ニ記入スル程統計上價值アルモノニヨリ總テ職業名ハ細密ニ記入セラレ度若シ然ラサルモノアルトキハ注意ヲ加ヘテ訂正セシメテ完全ナル記入ヲ爲シ得ル様注意スヘシ
 - 一、郡市町村送致目録書留簿、從來備ヘ置キタル小票控簿ハ大正十二年分ヨリ廢止セラレルニ付本月十四日縣訓令甲第三十八號人口動態調査令施行細則取扱手續第三條ニヨリ郡市町村長ハ人口動態調査票送致目録書留簿ヲ備ヘ置クニ付動態票及送致目録發送ノ際前月分ト對照シテ脱落又ハ重複ヲ爲ササル様正確ニ記入方注意ヲ要ス

各調査票ニ就キ注意

婚姻票

- 一、同一戸内ニ在ル者ノ婚姻、左ノ種別欄欄點ニ就キテハ人口動態調査票及送致目録作成心得第十ノ一號參照ヲ要ス
- 一、種別、欄點脱落又ハ二箇所ニ欄點ヲ附セルカ如キモノアリ記入ノ際注意ヲ要ス
- 一、本籍地、夫妻本籍地同一ナル場合及一部分同シトキニハ同ノ文字ヲ記入スル向アリ本票整理上差支カササルニヨリ同ノ文字ヲ記入セス夫々地名記入スヘシ
- 一、婚姻當時ノ所在地、夫妻婚姻當時ノ所在地同一ナル場合及一部分同シトキニハ同ノ文字ヲ記入スル向アリ本票整理上差支カササルニヨリ同ノ文字ヲ記入セス夫々地名記入スヘシ
- 一、届出ノ年月日、本籍地ヲ異ニスル婚姻ノ場合關係ノ市町村ヨリ婚姻届書廻送ヲ受ケタル年月日ヲ届出ノ年月日ニ記入スル場合アリ右ハ婚姻届書ニ記載アル届出ノ年月日ヲ記入スルモノニツキ記入ノ際注意ヲ要ス
- 一、配偶ノ關係、欄點脱落又ハ二箇所ニ欄點ヲ附セルカ如キモノアリ記入ノ際注意ヲ要ス
- 一、職業、夫妻一定ノ職業無キ場合之レ迄ハ(無職業)ト總テ記入セシ所職業別調査上當事者カ家族扶養ノ義務者ナルヤ扶養ヲ受ケ居ル者ナルヤ不分明ニヨリ事實職業無キ者ハ(ナシ)ノ文字、職業ニ從事シ居ル者ハ職業名細密ニ記入スル様注意ヲ要ス

離婚票

- 一、種別、欄點脱落又ハ二箇所ニ欄點ヲ附セルカ如キモノアリ記入ノ際注意ヲ要ス
- 一、本籍地、夫妻本籍地同一ナル場合及一部分同シ場合ニハ同ノ文字ヲ記入スル向アリ本票整理上差支カササルニヨリ同ノ文字ヲ記入セス夫々地名記入スヘシ
- 一、離婚當時ノ所在地、夫妻離婚當時ノ所在地同一又ハ一部分同シ場合ニハ同ノ文字ヲ記入スル向アリ本票整理上差支カササルニヨリ同ノ文字ヲ記入チナス夫々地名記入スヘシ
- 一、協議離婚届出ノ年月日、本籍地ヲ異ニスル離婚ノ場合關係ノ市町村ヨリ書類廻送ヲ受ケタル年月日ヲ届出ノ年月日ニ記入スル場合アリ右ハ届書ニ記載アル届出ノ年月日ヲ記入チナスヘキモノニ付注意ヲ要ス
- 一、裁判離婚確定ノ年月日、右往々訴ヲ提起シタル年月日ヲ記入スルコトアルモ本欄ハ離婚届書ニ添付ノ裁判ノ謄本ニ記載シアル裁

判確定ノ年月日ヲ記入スル答ニ付注意ヲ要ス

- 一、職業、夫妻一定ノ職業無キ場合之レ迄ハ(無職業)ト總テ記入セシ所職業別調査上當事者カ家族ノ扶養義務者ナルヤ扶養ヲ受ケ居ル者ナルヤ不分明ニヨリ事實職業無キ者ハ(ナシ)ノ文字、職業ニ從事シ居ル者ハ職業名細密ニ記入スル様注意ヲ要ス
- 出生票

- 一、氏名及男女ノ別、氏名記入ノミニテ男女何レニモ圈点洩レノ場合アリ注意ヲ要ス
- 一、父母ノ職業、父母一定ノ職業無キ場合之レ迄ハ(無職業)ト總テ記入セシ所職業別調査上當事者カ家族ノ扶養義務者ナルヤ扶養ヲ受ケ居ル者ナルヤ不分明ニツキ事實職業無キ者ハ(ナシ)ノ文字職業ニ從事シ居ル者ハ職業名細密ニ記入スル様尙嫡出子ノ出生ニ限リ人口動態調査票及送致目錄作成心得第十四ノ五號ニ示スカ如ク父母ノ職業双方記入チナスヘキ答ニ付注意ヲ要ス
- 一、庶子出生ノ場合、母ノ職業母ノ出生ノ年月日欄何等記入チナス空欄ニナシ置ケヘシ
- 一、雙兒、三兒及棄子ノ場合、右ノ場合ニハ人口動態調査票及送致目錄作成心得第十三、第十五ニ示スカ如ク「種類番號第號」ト印刷シアル下ニ夫々記入チナスヘキ答ニ付注意ヲ要ス
- 一、非本籍人ノ出生ノ場合、朝鮮、臺灣、樺太若ハ南洋群島ノ民籍ヲ有スル者又ハ外國ノ國籍ヲ有スル者ノ場合ニハ人口動態調査票及送致目錄作成心得第十四ニ示スカ如ク「種類番號第號」ト印刷シアル下ニ必ス民國籍又ハ籍ヲ記入スヘシ
- 死亡票
- 一、氏名及男女ノ別、氏名ノミニテ男女双方圈点洩レノ場合アリ注意ヲ要ス
- 一、六歳未満ノ身分、六歳未満ノ者ニ對シ嫡出子、庶子、私生子ノ身分ニ圈点ヲ附セサルモノアリ注意ヲ要ス
- 一、配偶ノ關係、圈点洩レ又ハ二箇所ニ圈点ヲ附セルカ如キモノアリ注意ヲ要ス
- 一、職業、(甲)死亡者(乙)家計ノ主(職業者)之レ迄ハ一定ノ職業無キ場合ニハ總テ(無職業)ト記入セシ所、職業別調査上當事者ハ家族ノ扶養義務者ナリヤ、扶養ヲ受ケ居ル者ナルヤ不分明ニツキ事實職業無キ者ハ(ナシ)ノ文字職業ニ從事シ居ル者ハ職業名細密ニ記入スル様注意ヲ要ス
- 一、死亡ノ原因、文字不明瞭、脱字、誤字等アリ整理上支障カカラサルニヨリ注意ヲ要ス
- 一、非本籍人ノ死亡ノ場合、無籍又ハ本籍不明、朝鮮、臺灣、樺太若ハ南洋群島ノ民籍ヲ有スル者又ハ外國ノ國籍ヲ有スル者ノ場合ニハ人口動態調査票及送致目錄作成心得第十六ニ示スカ如ク「種類番號第號」ト印刷シアル下ニ夫々文字ヲ記入スヘシ
- 一、失踪者及戶籍抹消、失踪ノ宣告ヲ受ケタル者並ニ戶籍法ノ規定ニヨリ裁判所ノ許可ヲ得テ戶籍抹消シタル者ハ人口動態調査票及

送致目錄作成心得第十七、第十八ニ示スカ如ク「種類番號第號」ト印刷シアル下ノ括弧内ニ必ス失踪又ハ戶籍抹消ノ文字ヲ記入チナスヘシ

死産票

- 一、男女ノ別、圈点洩レ又ハ男女双方ニ圈点ヲ附スカ如キ場合アリ注意ヲ要ス
- 一、妊娠ノ月數、記載洩レノトキ往々アリ注意ヲ要ス
- 一、嫡、庶、私ノ別、圈点洩レ又ハ二箇所ニ圈点ヲ附セルカ如キモノアリ注意ヲ要ス
- 一、職業、父一定ノ職業無キ場合ニハ無職業ト記入シ居リシ所當事者ハ家族ノ扶養義務者ナルヤ、扶養ヲ受ケ居ル者ナルヤ不分明ニツキ職業無キ者ハ(ナシ)ノ文字、職業ニ從事シ居ル者ハ細密ニ職業名記入スル様注意ヲ要ス
- 一、母ノ職業及庶子出生ノ場合、母ノ職業欄記入チ要セス尙庶子出生ノ場合ニハ母ノ職業及母ノ出生ノ年月日欄記入チナス之レ亦空欄トナシ置ケヘシ
- 一、雙胎兒及三胎兒ノ場合、雙胎兒三胎兒ノ場合ニハ人口動態調査票及送致目錄作成心得第十九ニ示スカ如ク「埋火葬認許證番號第號」ト印刷シアル下ニ雙胎兒三胎兒等ノ區別ヲ記入スヘシ
- 一、非本籍人ノ死産ノ場合、朝鮮、臺灣、樺太若ハ南洋群島ノ民籍ヲ有スル者又ハ外國ノ國籍ヲ有スル者ノ場合ニハ人口動態調査票及送致目錄作成心得第二十二示ルカ如ク其ノ民籍又ハ國籍ヲ「埋火葬認許證番號第號」ト印刷シアル下ニ必ス記入スヘシ

人口動態調査令(勅令)及人口動態調査施行細則(閣令)ト現行人口統計材料統計小票取扱手續(訓令)トノ主要ナル差違

- 第一 形式上ノ差違
- 第二 實質上ノ差違
 - 一、調査範圍
 - 二、調査項目
 - 三、徵集方法
 - 四、人口動態調査票ノ様式
- 第一、形式上ノ差違

從來人口動態統計材料ノ徵集ハ道府縣ニ對スル内閣訓令ニ據リシモ之ヲ勅令及閣令ニ改メタリ蓋シ改正ノ要旨ハ道府縣ニ對スル訓

令ヲ以テシテ國家事務ヲ市町村ニ處理セシムルコトハ妥當ナラス爲ニ往々事務ノ遂行上圓滑ヲ缺クコトアリ尙市制町村制ノ趣旨ニ鑑ミ又地方機關ノ要望ニモ副ハムトスルニアリ

第二、實質上ノ差違

一、調査範圍

從來ハ本籍者及死亡ニ限り無籍者又ハ本籍不明者ニ付材料ヲ徵集シタリシカ本案ハ右ノ外尙内地ニ現在セル外國人及殖民地人等ニ付テモ其ノ材料ヲ徵集スルコトトセリ之レ即チ國勢調査ニ於テ内地ニ現在スル者全部ヲ調査セシテ以テ之ト比較對照上其ノ均衡ヲ得セシメンカ爲特ニ其ノ調査範圍ヲ擴メタリ

二、調査項目

從來調査セルモノニシテ現在發表セス又將來發表スル計劃ナキモノハ省略セリ又場所記入トシテ大字地番號ヲ記入セシメタルモ其ノ必要ナキヲ以テ之ヲ省略セリ之レ市町村事務ノ簡捷ヲ計ラシカ爲ナリ

三、徵集方法

從來ハ一年ノ材料ヲ四期ニ分チ之ヲ徵集セシカ本案ハ之ヲ毎月ニ分割徵集スルコトニ改メタリ之レ市町村ニ於ケル事務ノ繁閑ヲ調節シ中央地方廳ノ事務ノ遂行ヲシテ圓滑ナラシムルト共ニ人口動態統計結果公表ノ期ヲ早ムルニ在リ

四、人口動態調査票ノ様式

從來ノ形狀ヲ縮少シ各票下部ニアル記入要綱ヲ省略シ記入事項ノ排列ニ多少ノ變更ヲ加ヘタリ之レ形狀ヲ縮少シタルハ取扱上ノ利便ヲ計ルト共ニ將來機械製表計劃ノ第一歩トシテ國勢調査ニ於テ用フル穿孔計牌ノ大サト同一ニシタリ又各票ノ記入心得ノ要綱ヲ省略シタルハ記入者市町村吏員ナル爲同一事務ニ連續從事スルヲ以テ各票ニ記入心得ノ要綱ヲ掲載スルノ必要ナシト認メタルカ爲ナリ而シテ記入事項ノ排列ニ變更ヲ加ヘタルハ記入ヲ容易ナラシムルト共ニ分類集計ノ能率ヲ増進セシメンカ爲ナリ

◎文五六號

大正十二年一月二十日

各 郡 市 長宛

館 知 事 官 房 文 書 課 長

人口動態調査票及送致目錄作成心得疑義ニ關スル件通牒

標記ノ件ニ關シ各府縣ヨリ統計局ヘノ照會ニ對シ別紙寫ノ通リ回答相成候旨今般其ノ筋ヨリ通牒有之候條各町村役場ヘ可然御通達相成度

(別 紙)

一、戶籍法第七十四條ニ依リ父未定ノ出生届出アリタル場合出生票中「嫡庶私ノ別」及「父母ノ職業」並ニ「父母ノ出生ノ年月日」ノ記載方ニ關スル件

父未定ノ届出アリタル場合ト雖母ノ職業及出生年月日ハ分明ナルヘキニ依リ其ノ職業及生年月日ヲ記入シ父ノ欄ニハ父未定ト記入シ又嫡庶私ノ區別ニ付テハ父未定ナリト雖其ノ出生兒ハ嫡出子トスルコト

二、無籍者カ新ニ就籍シタル場合人口動態調査票作成方ニ關スル件

無籍者カ期間經過ノ出生届ヲ爲シ就籍シタルモノナレハ出生票ヲ作成提出スヘク單ニ裁判所ノ許可ヲ得テ就籍シタルモノナレハ別段ノ手續ヲ爲スニ及ハサルモノトス

三、出生届ヲ誤テ重複受理シ後一方取消シタル場合ニ於ケル人口動態調査票作成方ニ關スル件

出生届重複シタルヲ發見シ一方取消シタル場合ニ於テハ人口動態調査票提出前ナレハ缺號トシテ其ノ理由ヲ送致目錄欄ニ記入スヘク提出後ナレハ別段ノ手續ヲ爲スニ及ハサルコト

四、婚姻票中ノ届出ノ年月日欄記入方ニ關スル件

婚姻票ノ届出年月日欄ニハ可成事實ニ近キ月日ヲ記入セシムル趣旨ニ依リ受理ノ年月日ニ依ラス人口動態調査票及送致目錄作成心得第十ノ四號ニ基キ婚姻届ニ記載シアル届出ノ年月日ヲ記入スルコト

離婚票ニ付テモ同様取扱フコト

五、離婚票中所在地欄記入方ニ關スル件

本籍地欄ニハ作成心得第十二ノ二ニ依リ離婚後ノ本籍地ヲ記入スルコトトナリ居ルヲ以テ離婚届書ニ所在地記載ナキ場合ハ前者ト同様離婚後ノ本籍地ヲ所在地ト看做シ所在地欄ニ記入スルコト

六、離婚票中氏名欄記入方ニ關スル件

氏名欄ニハ届書ニ記載シアル離婚成立後ノ氏即チ離婚ニ依リ復籍スヘキモノハ其ノ家ノ戸主ノ氏又ハ離婚ニ依リ一家創立シタルモノハ其ノ氏ヲ記入スルコト

七、失踪宣告ヲ受ケ除籍サレタルモノニ對シ其ノ後死亡届ノ送付ヲ受ケタル場合之カ人口動態調査票ノ作成方ニ關スル件

失踪ノ宣告ヲ受ケ除籍サレタル者ト雖其後死亡届出アリテ之ヲ受理シタル場合ハ死亡票ヲ作成スルコト

八、各票職業欄記入方ニ關スル件

287

635

大正十二年六月八日印刷
大正十二年六月十一日發行

茨城縣

茨城縣水戸市上市元白銀町一五二番地
印刷人 藤田權之介

茨城縣水戸市上市元白銀町一五二番地
印刷所 藤田印刷所

終

